JUSTIO 複合機

brother

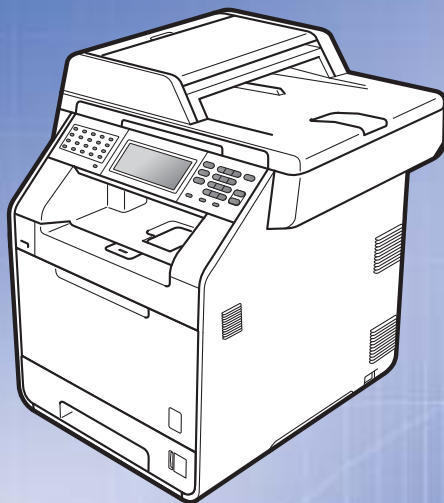
MFC-9970CDW

ユーザーズガイド基本編

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

ユーザーズガイドCD-ROM

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

- ユーザーズガイド　応用編
- ユーザーズガイド　パソコン活用編
- ユーザーズガイド　ネットワーク操作編
- ユーザーズガイド　ネットワーク知識編

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ４章「困ったときには」で調べる 98ページ

2 サポート ブラザー ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

Version 0 JPN

おすすめ機能 7P

ユーザーズガイドの構成

準備しましょう

- 電源の注意事項を知りたい
- 設置場所の注意事項を知りたい
- 停電のときの注意事項を知りたい
- トナーの注意事項を知りたい
- 安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
- 設置して使用できる状態にしたい
- 必要な設定をしたい
- コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい
- 簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい

まずは使ってみましょう

- 使用できる用紙が知りたい
- ファクスしたい（基本）
- コピーしたい（基本）
- USBからプリントしたい
- コンピューターからプリントしたい（基本）
- スキャンしたい（基本）
- リサイクルについて知りたい
- 消耗品を交換したい
- お手入れのやりかたを知りたい
- トラブルを解決したい

もっと便利に使ってみましょう

- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- 電話帳を作成したい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
- いろいろなファクス送受信をしたい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- コンピューターからプリントしたい（応用）
- コンピューターでファクスを送受信したい
- コンピューター上にアドレス帳を作成したい
- いろいろな方法でスキャンしたい
- さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）
- ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
- ネットワーク設定を手動で行いたい
- ネットワークにかかわるトラブルを解決したい

知りたいことをコンピューターですばやく探しましょう

- 基本から応用までまとめて探したい
- 音量を設定したい
- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- 電話帳を作成したい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
- 送信履歴などレポートを表示、印刷したい
- 文字の入力方法を知りたい

知りたい用語を調べましょう

- 分からない用語を調べたい

安全にお使いいただくために

冊子

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

かんたん設置ガイド

冊子

本製品を使用するための準備(設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など)を説明しています。はじめにお読みください。

ユーザーズガイド　基本編　＜本書＞

冊子

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたやトラブル対処方法について説明しています。いつでも手にとって見られる場所に保管してください。

ユーザーズガイド　応用編

CD-ROM

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド　パソコン活用編

CD-ROM

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使い方(Control Center)について説明しています。

ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

CD-ROM

ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。

画面で見るマニュアル(HTML形式)

ユーザーズガイド基本編、応用編、パソコン活用編、ネットワーク操作編の他に、全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。
マニュアルの検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

ユーザーズガイド　ネットワーク知識編

CD-ROM

ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

●冊子は本製品に同梱されています。
●画面で見るマニュアル(HTML形式)と各種説明書PDFマニュアルは、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)からダウンロードできます。
(http://solutions.brother.co.jp/)

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう	●ページ順に1部ごとコピー／プリント〔ソートコピー〕	→プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 →コピー ⇒49ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に	●ワンタッチダイヤルを使用する ●短縮ダイヤルを使用する ●再ダイヤルを使用する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
送付書を自動的につけられます	●送付書を付けて送信する ●送付書のオリジナルコメントを登録する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度にまとめて送りましょう	●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕 ●メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
原稿をセットしておくだけで相手が必要なときに送ります	●相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます	●他の場所のファクシミリに転送する	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

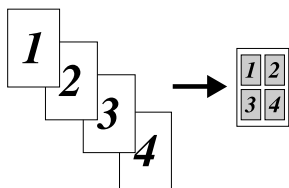
エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう	●消耗品の回収リサイクルについて	⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約	●両面コピー／両面プリント／両面ファクス	→ コピー ⇒ 49 ページ「両面コピーをする」 → プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 → ファクス ⇒ 45 ページ「受信したファクスを両面印刷する」
複数の原稿を 1 枚にまとめてコピー / プリントして節約	●レイアウトコピー／レイアウトプリント	→ コピー ⇒ 50 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー(N in 1 コピー)〕」 → プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」
コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約	●ファクスをコンピューターで受信する〔PC ファクス受信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」
A4サイズを超える原稿を受信すると き、自動的に縮小して 1 枚にまとめて節約	●自動的に縮小して印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

通信費を節約

深夜割引を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約	●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約	●トナーを節約する〔トナー節約モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
電力消費をおさえて節約	●スリープモードに入る時間を設定する 〔スリープモード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「電話帳の登録と編集」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏えいを防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

質がきれい におすすめ

コピー／ファクスの質を調整

拡大／縮小を思いどおりに	●拡大･縮小コピーをする	⇒ 49 ページ「拡大･縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	→ コピー ⇒ 52 ページ「画質を設定する」 → ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	●明るさを設定する	⇒ 52 ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	●コントラストを設定する	⇒ 53 ページ「コントラストを設定する」
コピーの色の濃さを調整する	●色の濃さを調整する	⇒ 53 ページ「色の濃さを変更する」
ファクス送受信時の濃度を調整する	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する ●ファクス受信時の印刷濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

本書の表記

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

マークについて

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の可能性がある内容を示しています。
注 意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を表しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を表しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク操作編の参照先を表しています。 （XXXはタイトル名）
「XXX」	安全にお使いいただくためにの参照先を表しています。（XXXはタイトル名）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。（XXXはボタン名）
【XXX】	タッチパネル上の表示項目を表しています。（XXXはボタン名）
「XXX」	コンピューターのディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。 （XXXは項目名や入力文字）

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ユーザーズガイドCD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドがPDF形式で収録されています。
- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編

Windows®の場合

1 付属のユーザーズガイド CD-ROM を、CD-ROMドライブにセットする

「ブラザー ユーザーズガイドCD-ROM」の画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［index.html］をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 お使いの製品名にカーソルを合わせる

3 ［ユーザーズガイドを表示する］にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

ブラウザーの上部にセキュリティ警告のメッセージが表示されたときは、メッセージをクリックしてください。そのあと、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックし、「はい」をクリックしてください。

補足

（Microsoft® Internet Explorer® 6.0以上のみ）
［ユーザーズガイドを PC にコピーする］をクリックして、ユーザーズガイドをコンピューターにコピーすると、CD-ROM がなくてもユーザーズガイドを見ることができます。コンピューターにユーザーズガイドをコピーする場合、警告画面が表示されたときは、［実行］をクリックしてください。

Macintoshの場合

1 付属のユーザーズガイド CD-ROM を、CD-ROMドライブにセットする

2 ユーザーズガイドCD-ROMのアイコンをダブルクリックする

3 ［index.html］をダブルクリックする

「ブラザー ユーザーズガイドCD-ROM」の画面が表示されます。

4 お使いの製品名にカーソルを合わせる

5 ［ユーザーズガイドを表示する］にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROMから、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows®の場合

1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする

「トップメニュー」が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピューター（コンピューター）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「サービスとサポート」をクリックする

3 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- ソリューションセンター
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintoshの場合

1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする

2 「サービスとサポート」をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする

- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- ソリューションセンター
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

1 使う前に知ってほしいこと

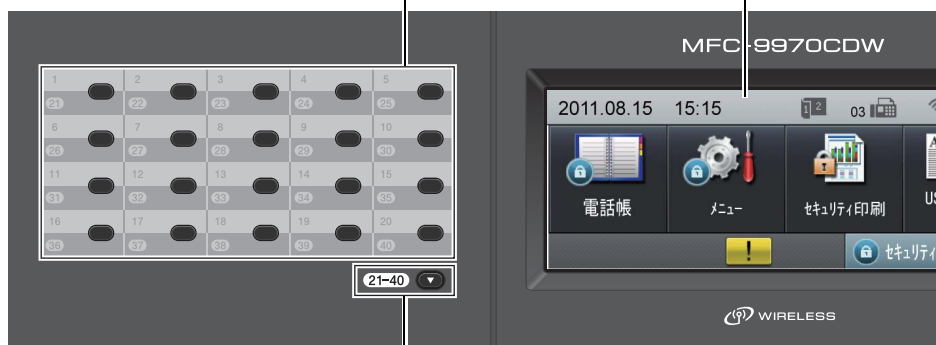
各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

タッチパネル

各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。
画面に直接タッチして各設定を行います。
⇒19ページ「待ち受け画面」
⇒20ページ「タッチパネル」

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

<▼>ボタン

ワンタッチダイヤルの21～40を登録またはダイヤルするときは、<▼>ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

<スタート（モノクロ/カラー）>ボタン

コピー、プリント、スキャンを開始するときなどに押します。

<停止/終了>ボタン

ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。

モード選択ボタン

ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。現在選択されているモード選択ボタンは青色に点灯します。
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

ファクス機能ボタン

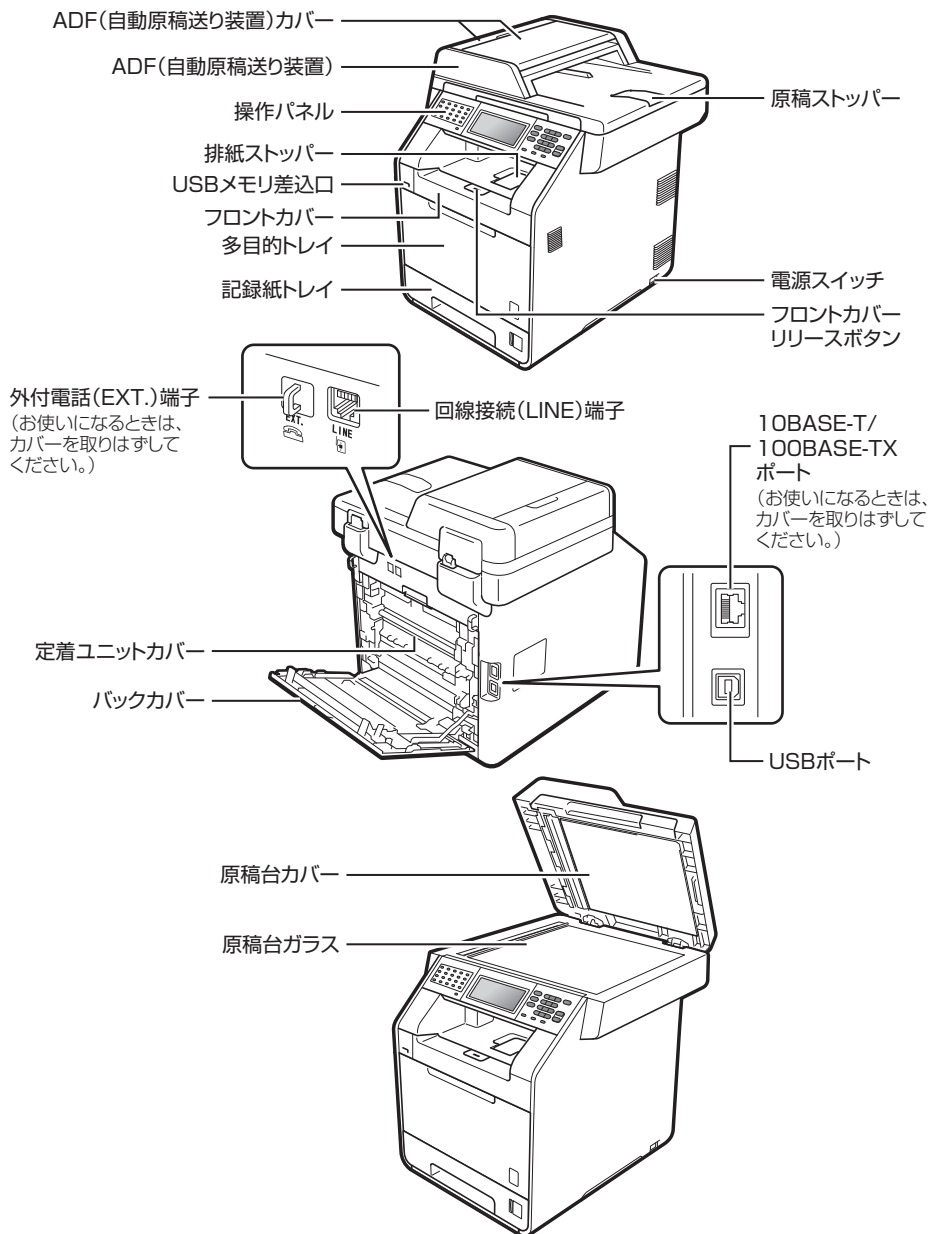
- **<オンフック>ボタン**
  ファクスを手動送信するときに押します。⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」
- **<再ダイヤル/ポーズ>ボタン**
  最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
  ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

<プリントデータ>／<キャンセル>ボタン

キャンセルボタンは、本製品の印刷されずに残っているメモリー内のデータや印刷処理中のデータを削除します。
本製品の印刷状態をランプの点滅によって表します。

プリントデータランプ	本製品の状態
消灯	電源スイッチがOFFになっている、メモリに印刷データがない状態、またはスリープの状態です。
緑（点滅）	コンピューターからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。
緑（点灯）	メモリに印刷データがある状態。 メモリに何らかの原因で印刷できなかったデータが残っています。 対処方法については、⇒99ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

各部の名称

ADF(自動原稿送り装置)カバー
ADF(自動原稿送り装置)
操作パネル
排紙ストッパー
USBメモリ差込口
フロントカバー
多目的トレイ
記録紙トレイ
原稿ストッパー
電源スイッチ
フロントカバーリリースボタン
外付電話(EXT.)端子
(お使いになるときは、カバーを取りはずしてください。)
EXT.
LINE
回線接続(LINE)端子
10BASE-T/100BASE-TXポート
(お使いになるときは、カバーを取りはずしてください。)
定着ユニットカバー
バックカバー
USBポート
原稿台カバー
原稿台ガラス

機能設定操作の基本

待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時などを確認でき、【メニュー】や【電話帳】などよく使用するボタンが並んでいます。

① 日時表示
現在の日時を表示します。

② メニュー
メインメニューを表示させるときに押します。

③ セキュリティ印刷
セキュリティ印刷メニューを表示します。

④ 両面ファクス受信表示
ファクス受信設定で両面ON時に表示します。

⑤ 保存されている受信ファクス件数
メモリーに保存されている受信ファクスの数を表示します。

⑥ 無線LAN電波強度表示
無線LAN接続時に電波強度を4段階で表示します。

⑦ ファクス受信設定
設定したファクスの受信モードを表示します。
・FAX（ファクス専用）
・F/T（自動切換え）
・留守（外付け留守電）
・TEL（電話）

⑧ ダイレクト印刷
USBメモリ使用時に使用します。

⑨ セキュリティインジケーター
セキュリティ機能ロック、セキュリティ設定ロック設定時に表示されます。

⑩ エラー表示
エラーまたは保守メッセージがあるときに表示されます。表示されたこのマークを押すと本製品の現在の状態や、保守手順を表示します。
表示内容を確認後、<停止/終了>ボタンを押してください。待機画面に戻ります。

⑪ 電話帳
登録されている宛先やワンタッチダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。

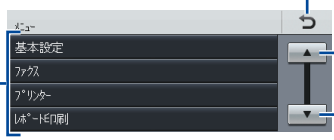
タッチパネル

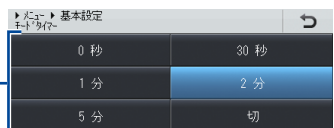
LCD画面に表示された項目やボタンを直接指で軽く押して使用します。
【▲】、【▼】、【◀】、【▶】でスクロールができます。
⮌ で前のメニューに戻ることができます。

注意

タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

前の画面に戻ります。

それぞれの項目を押すと次の画面が表示されます。

項目を上下に移動します。

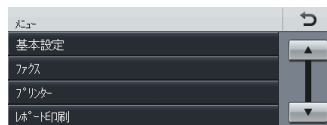
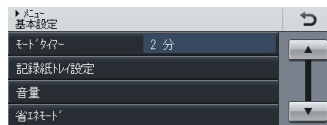
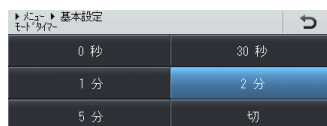
ボタンを押すと設定が有効になります。

ボタンを押して数値を入力します。

設定を確定します。

操作例

以下の手順で、「モードタイマー」設定を「2分」から「5分」への設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 【モードタイマー】を押す

4 【5 分】を押す

5 <停止/終了>を押す

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われたあと、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

ﾌﾟｯｼｭ回線です　：プッシュ回線に設定されたとき

ﾀﾞｲﾔﾙ20PPSです　：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

  「設定できませんでした」
  電話機ｺｰﾄﾞ両端の接続をご確認ください。
  または、ご利用の回線業者へお問合せください。

  電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>を押してください。「接続を中止します　よろしいですか？」と表示されますので【はい】を押してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、回線種別の設定を行わないまましばらく時間が経つと、「回線種別を設定できませんでした」と表示されます。メッセージを消去するには、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。
  手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。

回収対象となる消耗品
　・トナーカートリッジ　・ドラムユニット　・ベルトユニット　・廃トナーボックス
http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
　事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。
　一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

2 まずは使ってみましょう

記録紙の基本

記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　セットできるトレイと記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

⇒ 25 ページ「セットできる記録紙」、⇒ 26 ページ「使用できない記録紙」

STEP 2　記録紙をセットする

記録紙トレイまたは多目的トレイにセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒ 29 ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」

STEP 3　セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズをあわせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容があっているかを必要に応じて確認してください。

⇒ 31 ページ「セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する」

セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。また、記録紙トレイと多目的トレイの他に、オプションの増設記録紙トレイ（LT-300CL）を増設することにより、最大800枚（80g/m^2の普通紙の場合）セットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数（80g/m^2）
標準記録紙トレイ （トレイ1）	普通紙、普通紙（厚め） （60g/m^2～105g/m^2） 再生紙 はがき（30枚）	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 A5（横置き） B6（ISO/JIS） A6 はがき（同等品）	250枚
多目的トレイ （MPトレイ）	普通紙、普通紙（厚め） （60g/m^2～105g/m^2） 超厚紙　（105g/m^2～163g/m^2） 再生紙 はがき※1（10枚） ラベル紙 封筒※2（洋形4号）（3枚） 光沢紙	ユーザー定義サイズ （幅69.8～216.0mm 長さ116.0～ 406.4mm）	50枚
増設記録紙トレイ （トレイ2）	普通紙、普通紙（厚め） （60g/m^2～105g/m^2） 再生紙	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 B6（ISO/JIS） はがき（同等品）	500枚

※1 ：⇒29ページ「はがきに印刷する場合」を参照してください。
※2 ：⇒31ページ「封筒に印刷する場合」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^2紙）の場合、約150枚です。

使用できない記録紙

次のような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

使用できない記録紙

- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- カールしている記録紙
  カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋のついている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の記録紙
  中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
  紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙
  紙づまりや故障の原因になります。
- アイロン転写用紙

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンターの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの原稿サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙トレイに記録紙をセットする

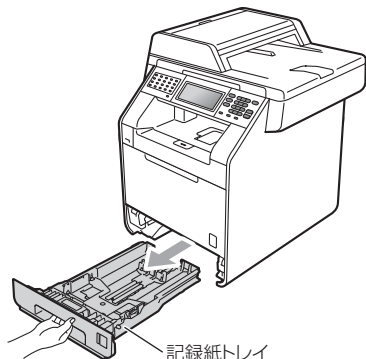
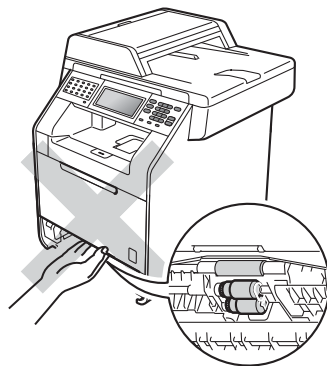
注意

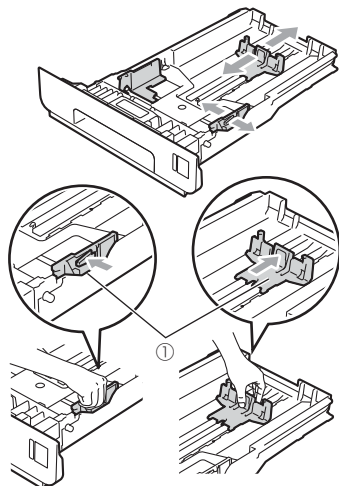
■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

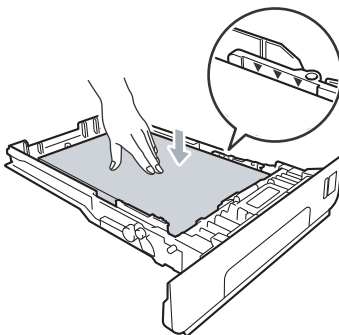
■記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

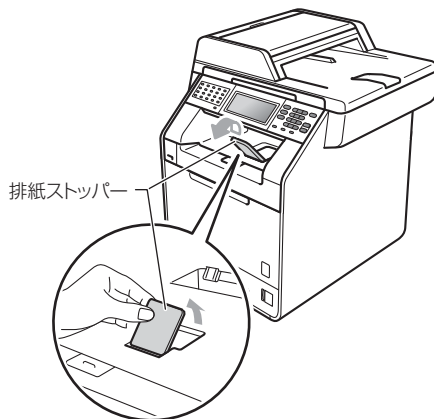
1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

注意

給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。

2 記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

- レバー①をつまみながら使用する記録紙サイズに合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝に、はまっていることを確認してください。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

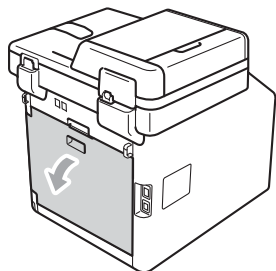
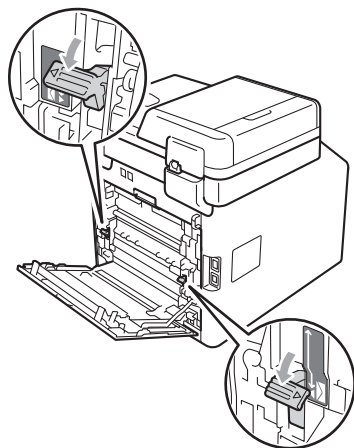
記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。

5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開く

注意

■印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

はがきに印刷する場合

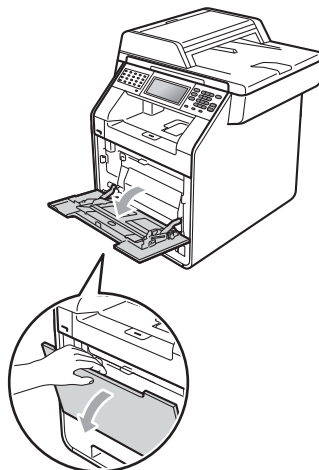
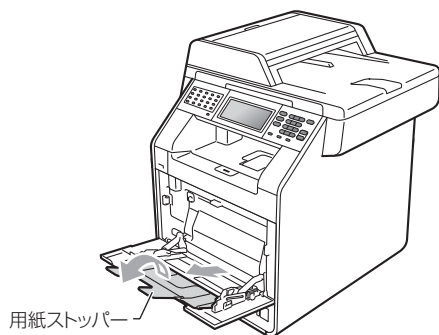
1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

2 灰色のレバーを手前に引いて◀／▶マークを✉マークに合わせる

3 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

補足

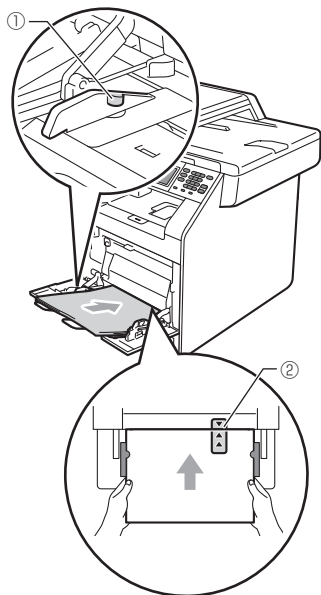
印刷が終わったら灰色のレバーを元の位置まで戻してください。

多目的トレイに記録紙をセットする

超厚紙、ラベル紙、封筒、光沢紙は、多目的トレイにセットしてください。

1 多目的トレイを開ける

2 用紙ストッパーを引き出し、開く

3 印字面を上にして記録紙を入れる

4 記録紙ガイドを記録紙に合わせる

補足

● 用紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。

● 用紙の先端をマーク②の位置までゆっくりと挿入してください。

● 光沢紙の場合は、紙づまり防止のために一枚ずつ入れてください。

注意

記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

5 排紙ストッパーを開く

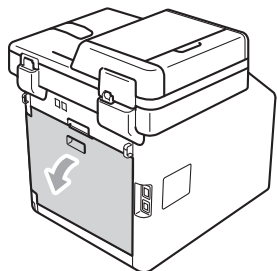
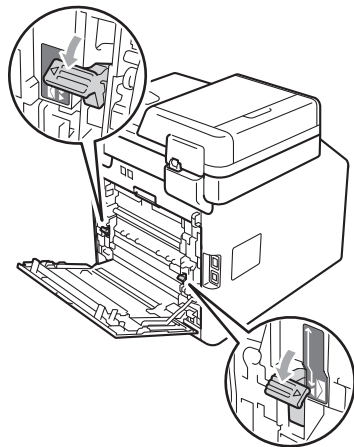
注意

■印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

封筒に印刷する場合

封筒に印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

1 **バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける**

2 **灰色のレバーを手前に引いて◀／▶マークを✉マークに合わせる**

補足

- 紙づまりしないように印刷後は封筒をすぐに取り出してください。
- 印刷が終わったら灰色のレバーを元の位置まで戻してください。

セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズをあわせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

記録紙のタイプとサイズを変更する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプとサイズを選択します。

補足

光沢紙の場合は、記録紙トレイを「多目的トレイ」に設定してください。

1 **【メニュー】→【基本設定】→【記録紙トレイ設定】を押す**

2 **【▲】または【▼】を押し、記録紙トレイを選択する**

3 **【◀】または【▶】を押し、記録紙サイズを選択する**

4 **記録紙の種類を選択する**

5 **<停止/終了>を押す**

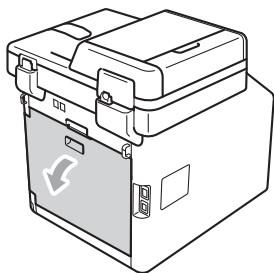
補足

- 記録紙サイズを「フリー」にする場合、記録紙トレイを「多目的トレイ」に設定してください。
- N in 1 コピーをする場合、記録紙サイズを「フリー」に設定することはできません。
- 記録紙トレイを「記録紙トレイ　#2」（増設記録紙トレイ装着時）にする場合、「A5 L（A5（横置き））」または「A6」を設定することはできません。

記録紙が排出される場所

通常、記録紙は本製品前部の排紙トレイから排紙されます。

背面排紙トレイ

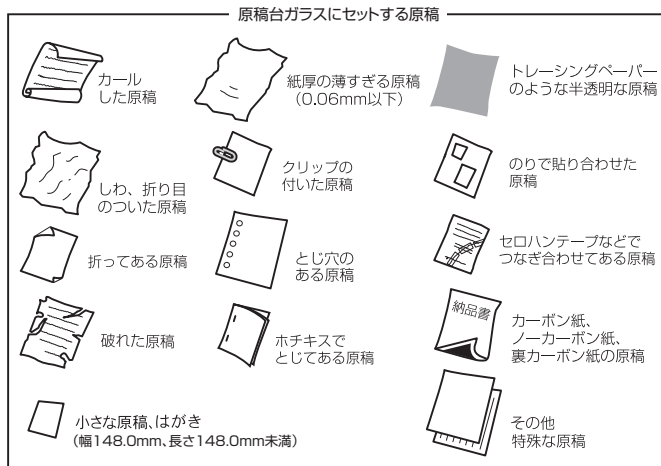
バックカバー（背面排紙トレイ）を開くと、多目的トレイに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。

補足

紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。

注意

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

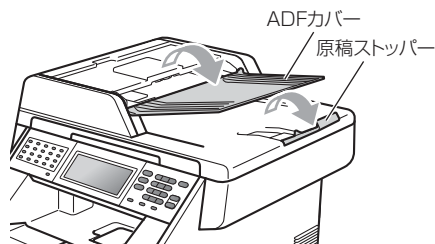
原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。
セットできる原稿については、⇒33ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒62ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF(自動原稿送り装置)にセットする

原稿は一度に50枚までセットできます。

1 ADFカバーと原稿ストッパーを開ける

2 原稿の読み取る面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

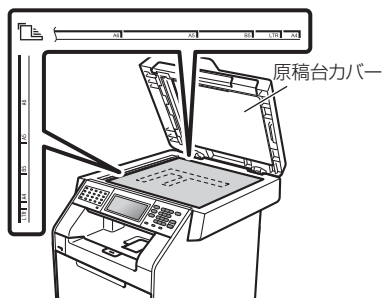
原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。

原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。

- ■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。
- ■本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする

3 原稿台カバーを閉じる

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押さえてください。

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

ファクス送信の流れ

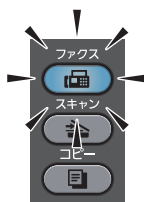
ファクス送信には、「自動送信」と「手動送信」があります。ここでは「自動送信」を例に操作の流れを説明します。手動送信については、⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は「ｵﾌ」にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

- 「ﾒﾓﾘｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容に影響します。

STEP 1　ファクスモードに切り替える

操作パネルの < ファクス > を押してファクスモードに切り替えます。ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。

ファクスモードに切り替えると、液晶ディスプレイはファクス標準画面に切り替わります。

①：電話帳

②：両面ファクス

③：ファクス画質

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送り方を設定します。

● 送信条件

■同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■海外へ送信する〔海外送信モード〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■指定時刻に送信する〔タイマー送信〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■送付書をつけて送信する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● 原稿読み取り

■画質　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿濃度　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ポイント

複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、「STEP4 宛先を指定する」に進みます。

STEP 4　宛先を指定する

● 直接入力

■ダイヤルボタンを使用する
　ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

● 電話帳を利用

■ワンタッチダイヤルを使用する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■短縮ダイヤルを使用する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● その他

■同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■チェーンダイヤルを使用する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

モノクロで送るときは＜スタート（モノクロ）＞、カラーで送るときは＜スタート（カラー）＞を押して、ファクスを開始します。
正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

■カラーでファクスを送信する場合

＜スタート（カラー）＞を押して、ファクスを開始します。

カラーで原稿を複数枚送信するときは、ADF に原稿をセットしてください。

■モノクロでファクスを送信する場合

＜スタート（モノクロ）＞を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が 1 枚のとき

  【いいえ】、または＜スタート（モノクロ）＞を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が複数枚のとき

  【はい】を押して、次の原稿をセットしたあと＜スタート（モノクロ）＞を押します。

  この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または＜スタート（モノクロ）＞を押して、ファクスを開始します。

ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき
　＜停止 / 終了＞→【はい】を押します。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、<オンフック>を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 **ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする**

2 **< オンフック > を押して、相手先のファクス番号を入力する**

3 **相手先の受信音（ピー）を確認して<スタート(モノクロ/カラー)>を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で【送信】を押します。

補足

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

自動送信のとき

1 **<停止/終了>→【はい】を押す**

手動送信のとき

1 **<オンフック>を押す**

補足

<スタート（モノクロ/カラー）>を押した後にファクス送信を中止したい場合は、<停止/終了>→【はい】を押してください。

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する「自動受信」を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信する「メモリ受信」、受信操作を自分で行う「手動受信」、電話機を使用して受信操作を行う「リモート受信」などさまざまな受信方法があります。詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

STEP 1　受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒ 41 ページ「受信モードの種類」

● お使いの電話機を本製品と接続しない場合

・ファクス専用モード

● お使いの電話機を本製品と接続する場合

・自動切換えモード

・外付け留守電モード

・電話モード

お使いの電話機を本製品に接続する

しない

FAX=ファクス専用

＊電話を受けることはできません。

する

相手がファクスのときは自動的に受ける

受けない

TEL=電話

＊ファクスのときは<スタート(モノクロ/カラー)>→【受信】を押して受信します。

お使いの電話機の留守番電話機能を使う

使わない

受ける

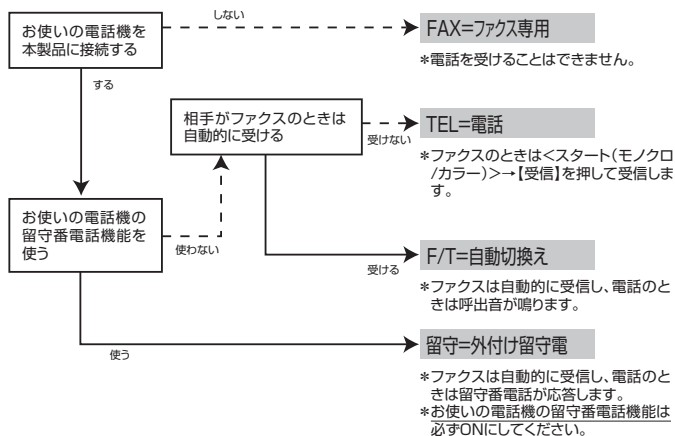
F/T=自動切換え

＊ファクスは自動的に受信し、電話のときは呼出音が鳴ります。

使う

留守=外付け留守電

＊ファクスは自動的に受信し、電話のときは留守番電話が応答します。

＊お使いの電話機の留守番電話機能は必ずONにしてください。

STEP 2　受信モードを設定する

STEP1 で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒ 45 ページ「受信モードを設定する」

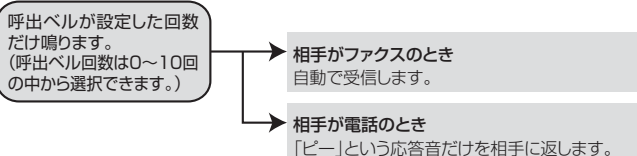
STEP 3　受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

■自動的に縮小して印刷する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■印刷の濃さを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信スタンプを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信したファクスを両面印刷する　⇒ 45 ページ「受信したファクスを両面印刷する」

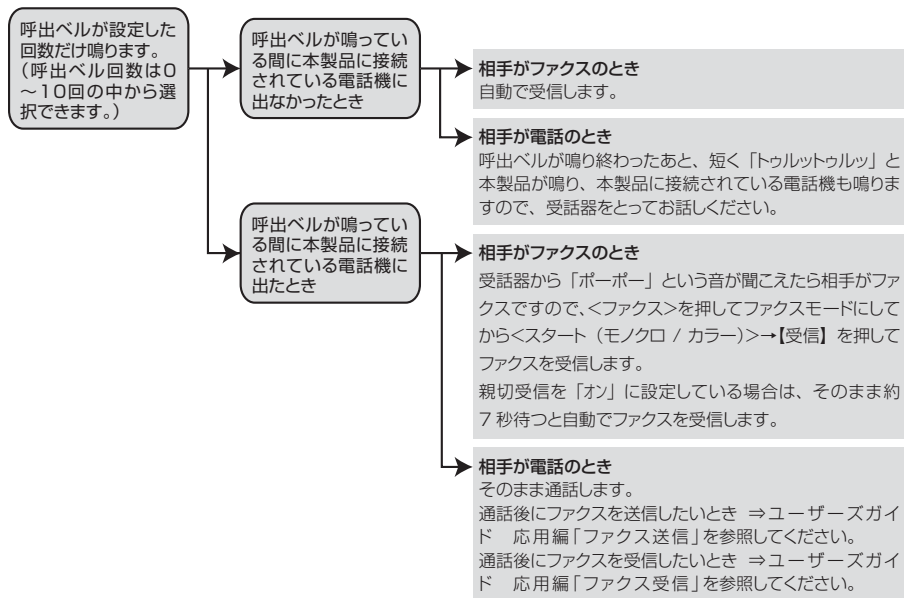
受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足

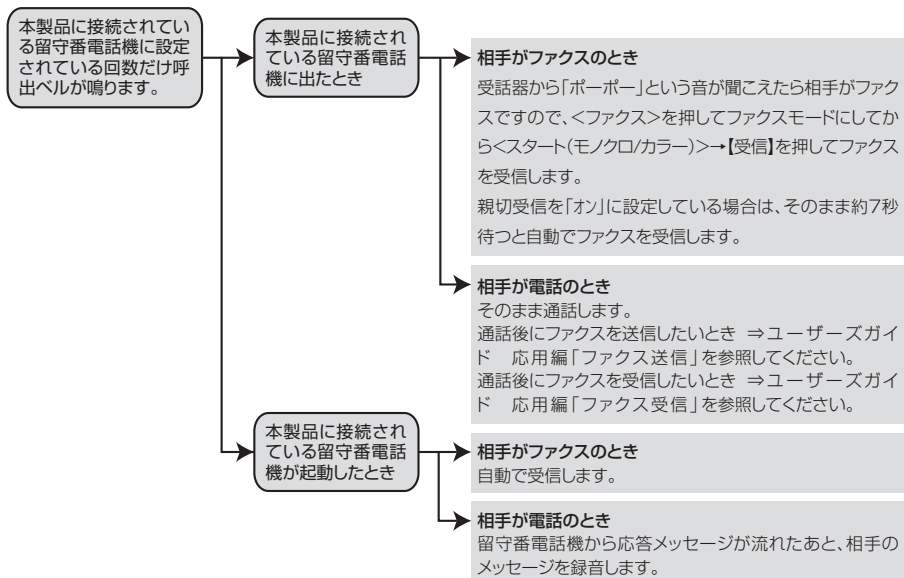
● ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
● 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて < スタート（モノクロ/カラー）>→【受信】を押してください。
  親切受信をオンに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 呼出回数の設定のしかたは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒ユーザーズガイド応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは < スタート（モノクロ/カラー）>→【受信】を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「オフ」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート（モノクロ/カラー）>→【受信】を押してください。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

注意

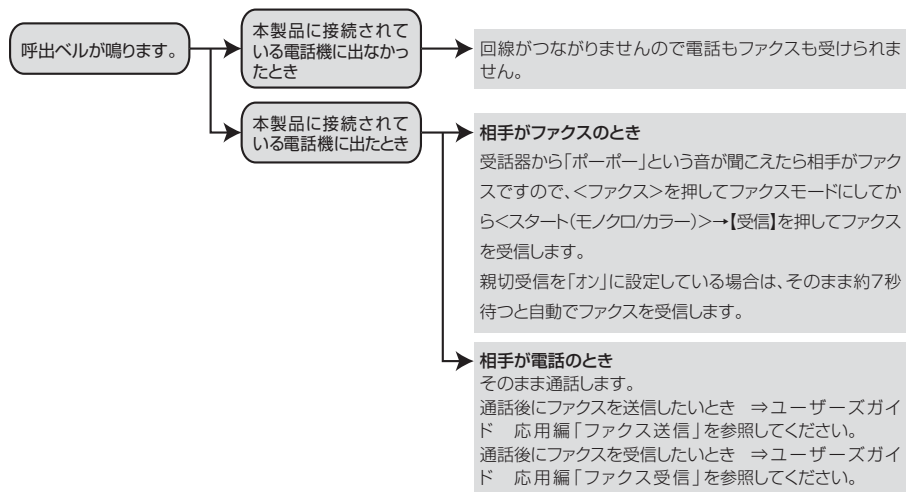
本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて ＜スタート（モノクロ/カラー）＞→【受信】を押してください。
  親切受信をオンに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

補足

ファクス受信について

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて < スタート（モノクロ/カラー）>→【受信】を押してください。
  親切受信をオンに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して <スタート（モノクロ/カラー）>→【受信】を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 **【メニュー】→【▲】または【▼】で【初期設定】→【受信モード】を押し、受信モードを選択する**

2 **<停止/終了>を押す**

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。
- 「FAX=ファクス専用」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力するとき、両面印刷するように設定できます。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ（60g/m^2 ～ 105g/m^2）のみです。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【▲】または【▼】で【両面印刷】を押す**

2 **【オン】を選択する**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

両面印刷を「オン」にすると「自動縮小」の設定に関係なく、内部的に「自動縮小」が「オン」と同じ状態で印刷されます。

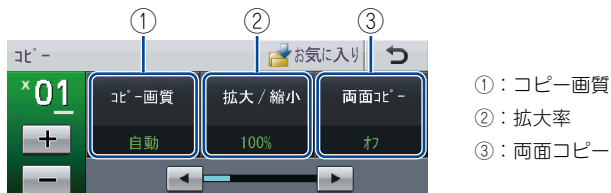
コピーの基本

コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　コピーモードに切り替える

操作パネルの ＜ コピー ＞ を押してコピーモードに切り替えます。コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。

コピーモードに切り替えると、液晶ディスプレイはコピー標準画面に切り替わります。

①：コピー画質
②：拡大率
③：両面コピー

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● **ADF（自動原稿送り装置）にセットする**

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、ディスプレイに「原稿ｾｯﾄ OK」が表示されます。

● **原稿台ガラスにセットする**

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　部数を入力する

部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。

また【+】、【−】でも部数を変更できます。

コピー部数を取り消したいとき
＜停止 / 終了＞を押します。

STEP 4　コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上がりかたを設定します。

⇒ 48 ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

- ■ソートコピー　⇒ 49 ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
- ■両面コピー　⇒ 49 ページ「両面コピーをする」
- ■レイアウトコピー（N in 1 コピー）⇒ 50 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1 コピー）〕」
- ■ 2 in 1ID コピー　⇒ 51 ページ「2 in 1 ID コピーをする」
- ■記録紙トレイ設定　⇒ 52 ページ「記録紙トレイを設定する」

ポイント

ソートコピーをしたいとき
ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。

● コピーの倍率を変更したいとき

- ■拡大･縮小コピー⇒ 49 ページ「拡大･縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

- ■画質⇒ 52 ページ「画質を設定する」
- ■明るさ⇒ 52 ページ「明るさを設定する」
- ■コントラスト⇒ 53 ページ「コントラストを設定する」
- ■色の濃さ⇒ 53 ページ「色の濃さを変更する」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

モノクロでコピーするときは＜スタート（モノクロ）＞、カラーでコピーするときは＜スタート（カラー）＞を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

モノクロでコピーするときは＜スタート（モノクロ）＞、カラーでコピーするときは ＜スタート（カラー）＞を押します。

コピーを途中で中止したいとき
＜停止 / 終了＞を押します。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。
設定には「自分がコピーするときだけ一時的に設定するもの」と「設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするもの」の2種類があります。

分類	機能	一時的な設定 （操作の入り口）	保存する設定 （操作の入り口）	参照
倍率	拡大/縮小	＜コピー＞→ 【拡大/縮小】	－	⇒49ページ「拡大･縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	＜コピー＞→ 【スタック/ソート】	－	⇒49ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	＜コピー＞→ 【両面コピー】	－	⇒49ページ「両面コピーをする」
	レイアウトコピー	＜コピー＞→ 【レイアウト コピー】→ レイアウト	－	⇒50ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」
	2 in 1 IDコピー	＜コピー＞→ 【レイアウト コピー】→ 【2in1(ID)】	－	⇒51ページ「2 in 1 IDコピーをする」
	トレイ選択	＜コピー＞→ 【トレイ選択】	【メニュー】→ 【基本設定】→ 【記録紙トレイ設定】→ 【トレイ選択：コピー】	⇒52ページ「記録紙トレイを設定する」
質	画質	＜コピー＞→ 【コピー画質】	＜コピー＞→ 【コピー画質】→ 【設定を保持する】	一時的な設定→　⇒52ページ「画質を設定する」 保存する設定→　⇒54ページ「コピーの設定内容を保存する」
	明るさ	＜コピー＞→ 【明るさ】	＜コピー＞→ 【明るさ】→ 【設定を保持する】	一時的な設定→　⇒52ページ「明るさを設定する」 保存する設定→　⇒54ページ「コピーの設定内容を保存する」
	コントラスト	＜コピー＞→ 【コントラスト】	＜コピー＞→ 【コントラスト】→ 【設定を保持する】	一時的な設定→　⇒53ページ「コントラストを設定する」 保存する設定→　⇒54ページ「コピーの設定内容を保存する」
	カラー調整	＜コピー＞→ 【カラー調整】	＜コピー＞→ 【カラー調整】→ 【設定を保持する】	一時的な設定→　⇒53ページ「色の濃さを変更する」 保存する設定→　⇒54ページ「コピーの設定内容を保存する」

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 **<コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する**

2 **【◀】または【▶】で【拡大/縮小】を押し、倍率を選択する**

【カスタム】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して【OK】を押してください。

3 **<スタート（モノクロ/カラー）>を押す**

補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。
原稿はADF（自動原稿送り装置）にセットしてください。原稿台ガラスからソートコピーはできません。

ソートコピー

1 **<コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する**

2 **【◀】または【▶】で【スタック/ソート】を選択し、【ソート】を押す**

3 **<スタート（モノクロ/カラー）>を押す**

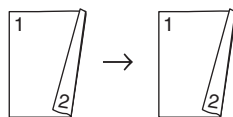
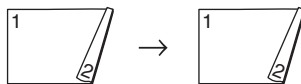
補足

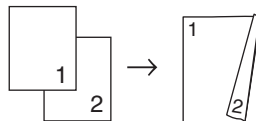
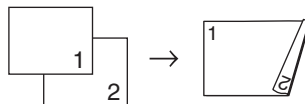
原稿の読み込み中に「メモリがいっぱいです」と表示されたときは⇒99ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

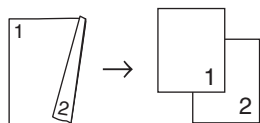
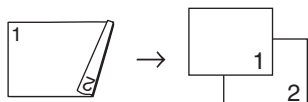
両面コピーをする

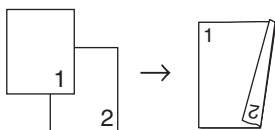
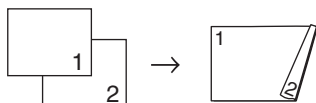
片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをお勧めします。
両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

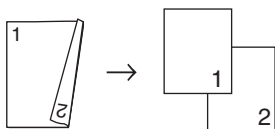
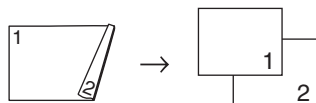
両面→両面

縦

横

片面→両面 長辺綴じ原稿

縦

横

両面→片面 長辺綴じ原稿

縦

横

片面→両面 短辺綴じ原稿

縦

横

両面→片面 短辺綴じ原稿

縦

横

1 **<コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する**

2 **【◀】または【▶】で【両面コピー】を押す**

3 **【◀】または【▶】でコピー方法を選択する**

4 **<スタート（モノクロ/カラー）>を押す**

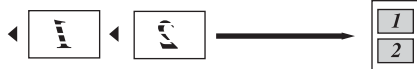
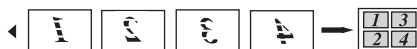
原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットしたあと、<スタート（モノクロ/カラー）>を押します。この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。
コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

原稿台ガラスの場合

〈2in1（縦長）〉

〈2in1（横長）〉

〈4in1（縦長）〉

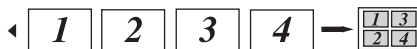
〈4in1（横長）〉

ADF（自動原稿送り装置）の場合

〈2in1（縦長）〉

〈2in1（横長）〉

〈4in1（縦長）〉

〈4in1（横長）〉

1 **<コピー >を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する**

2 **【◀】または【▶】で【レイアウト コピー】を押し、レイアウトを選択する**

3 **<スタート（モノクロ/カラー）>を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットしたあと、<スタート（モノクロ/カラー）>を押します。この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

補足

- レイアウトコピー（N in 1コピー）では、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

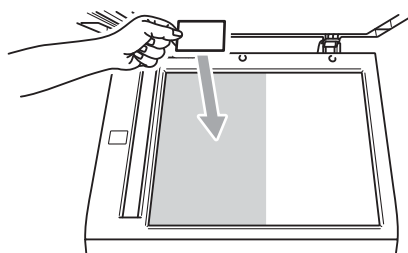
2 in 1 IDコピーをする

ID カードや身分証明書などカードサイズの裏表を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

補足

IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには十分、注意してください。

1 **<コピー >を押し、部数を入力する**

2 **原稿台ガラスの左側（イラストのグレー部）に、裏向きにして印刷するカードをおく**

3 **【◀】または【▶】で【レイアウト コピー】を押す**

4 **【◀】または【▶】で【2in1(ID)】を押す**

補足

「2in1(ID)」を選択すると、画質の設定は「写真」、コントラストの設定は「−□□□□■＋」になります。

5 **<スタート（モノクロ/カラー）>を押す**

カードの片面のスキャンが終わると、ディスプレイに「IDカードを裏返してください スタートキーを押してください」と表示されます。

6 **原稿台ガラスのカードを裏返して<スタート（モノクロ/カラー）>を押す**

記録紙トレイを設定する

一時的に設定する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

1 <コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【トレイ選択】を押し、トレイを選択する

3 <スタート（モノクロ／カラー）>を押す

補足

#2は、オプションの増設記録紙トレイ2（LT-300CL）を増設したときに表示されます。

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー>を押す

2 【▲】または【▼】で【基本設定】を押す

3 【▲】または【▼】で【記録紙トレイ設定】を押す

4 【▲】または【▼】で【トレイ選択：コピー】を押し、トレイを選択する

5 <停止/終了>を押す

画質を設定する

「コピー画質」の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- 「自動」
  自動的に画質を調整します。
- 「テキスト」
  薄い文字をはっきりと印刷します。
- 「写真」
  グラデーションをきれいに印刷します。
- 「カーボン」
  カーボン紙の文字をきれいに印刷します。

一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 <コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【コピー画質】を押し、画質を選択する

3 <スタート（モノクロ/カラー）>を押す

明るさを設定する

「明るさ」の設定を変更します。
明るさは以下のように設定することができます。

- 【▶】
  明るくなります。
- 【◀】
  暗くなります。

一時的に設定する

一時的に明るさを変えてコピーすることができます。

1 <コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【明るさ】を押す

3 【◀】または【▶】で明るさを選択して、【OK】を押す

【◀】を押すと暗くなり、【▶】を押すと明るくなります。

4 <スタート(モノクロ/カラー)>を押す

コントラストを設定する

「コントラスト」の設定を変更します。
コントラストは以下のように設定することができます。

- 【▶】
  濃くなります。
- 【◀】
  薄くなります。

一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 <コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【コントラスト】を押す

3 【◀】または【▶】でコントラストを選択して、【OK】を押す

4 <スタート(モノクロ/カラー)>を押す

色の濃さを変更する

コピーの「色の濃さ」の設定を変更します。
色の濃さは以下のように設定することができます。

- 【▶】
  色味が増します。
- 【◀】
  色味が減少します。

一時的に設定する

一時的に色の濃さを変えてコピーすることができます。

1 <コピー>を押し、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【カラー調整】を押す

3 カラー調整する色を選択する

4 【◀】または【▶】で濃さを調整して、【OK】を押す

濃さは5段階で調整できます。

5 <スタート(モノクロ/カラー)>を押す

コピーの設定内容を保存する

以下の手順で「画質」、「明るさ」、「コントラスト」、「カラー調整」の設定内容を保存することができます。設定内容を保存すると、いつでも設定した内容でコピーできます。

1 **<コピー >を押す**

2 **必要に応じて【◀】または【▶】で初期値にしたい設定を変更する**

変更したい各設定についてはこの手順を繰り返してください。

3 **最後の設定を変更後、【◀】または【▶】で【設定を保持する】を選択する**

4 **【はい】を押す**

変更した設定が初期値として保存されます。

5 **<停止/終了>を押す**

USBダイレクトプリントの基本

USBダイレクトプリントの流れ

コンピューターを使用しないで、USBメモリから直接データをプリントする操作の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定や USB ハブ機能付きの USB メモリなど、ご使用の USB メモリによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。
- 本製品は、PictBridge（ピクトブリッジ）に対応していません。ただし、お使いのデジタルカメラがマスストレージモードに対応している場合は、デジタルカメラをマスストレージ接続モードに設定し、本製品とUSBケーブルで接続することにより、デジタルカメラ内のメモリカードをUSBメモリと同様に記憶装置として認識します。本製品の操作パネルを操作して写真データを印刷してください。

STEP 1　データ形式を確認する

USB ダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は以下のとおりです。

ただし、PRN 形式の場合は、STEP4 で印刷の設定をすることができません。

- PDF version1.7（JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルは未対応です。）
- JPEG
- Exif+JPEG
- PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）
- TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）
- PostScript® 3™（本製品の BR-Script3 プリンタードライバーで作成されたデータ）
- XPS 形式

ポイント

PRN 形式のファイルを保存したいとき

プリンタードライバー画面で「ファイルへ出力」項目にチェックをつけます。

STEP 2　USB メモリを本製品に接続する

USB メモリを USB メモリ差込口に接続すると、本製品が USB メモリを認識します。

※ 本製品がディープスリープモードのときは、USB メモリを接続しても認識しません。タッチパネルに触れるか、操作パネルのいずれかのボタンを押して待ち受け状態にしてください。

STEP 3　印刷するフォルダーやデータを選択する

【USB ダイレクトプリント】を押して、【▲】または【▼】でフォルダーやデータを選択します。

● 操作方法

・フォルダー内を表示するときは、【フォルダー名 / データ名】を押します。
・一つ上の階層に戻るときは、 を押します。

● フォルダー名やデータ名の表示

・フォルダー名の前に が表示されます。
・データを選択しているときは、データ名がスクロールで表示されます。
・ディスプレイに表示できない特殊な文字は「?」と表示されます。

STEP 4　印刷内容を設定する

● プリントしたい部数（1 ～ 999）をダイヤルボタン、または【+】、【−】で入力する

【テンポラリ印刷設定】を押し、【▲】または【▼】で以下の設定項目を選択します。

・記録紙サイズ
・記録紙タイプ
・レイアウト
・印刷の向き（JPEG 形式選択時のみ）
・両面印刷：
JPEG 形式選択時は設定できません。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ（60g/m^2 ～ 105/m^2）のみです。
・部単位
・トレイ選択
・プリント画質
・PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

印刷内容をあらかじめ設定したいとき
操作パネルからのメニューで設定しておくことができます。詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「USB ダイレクトプリント」を参照してください。

STEP 5　プリントを開始する

以下の順で操作を行い、プリントを開始します。

● STEP4「印刷内容を設定する」で【テンポラリ印刷設定】をした後で部数を入力したいときは、 で 1 つ前の画面に戻ります。

● カラープリントする場合は＜スタート（カラー）＞、モノクロプリントする場合は＜スタート（モノクロ）＞を押す

「デバイスを抜かないで下さい」というメッセージが表示されている間は、USBメモリを抜かないでください。

● ＜停止 / 終了＞を押す

プリントの基本

プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（プリンタードライバーのインストール）

付属 CD-ROM の中にあるプリンタードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 2　コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 3　プリンターを選択する

［印刷］ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 4　印刷内容を設定する

［プロパティ］ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し［OK］をクリックします。

用紙サイズ、部数、用紙種類、解像度、カラー / モノクロ、レイアウト、両面印刷／小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 5　プリントを開始する

［OK］をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とコンピューターからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の 2 つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP2 から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

付属 CD-ROM の中にあるスキャナードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は本製品に TCP/IP を設定します。

⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークの設定」

STEP 2　スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特長によってスキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 3　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。また、自動両面スキャンもできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4　スキャンモードに切り替える

操作パネルの < スキャン > を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

STEP 5　スキャンの機能を選択する

機能を選択します

- スキャン to E メール
- スキャン to PC
  （E メール／イメージ／ OCR ／ファイル）
- スキャン to FTP
- スキャン to ネットワークファイル
- スキャン to USB

STEP 6　保存先／送信先を選択する

スキャンしたデータの保存先／送信先を選択します。

USB 接続の場合は保存先の選択は必要ありません。必要に応じて画質やファイル名などを設定します。

STEP 7　スキャンを開始する

<スタート（モノクロ/カラー）>を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4　アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5　スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで解像度、明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6　スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。

- 記録紙トレイ
- 原稿台ガラス
- スキャナーウインドー
- ドラムユニット
- コロナワイヤー
- 給紙ローラー

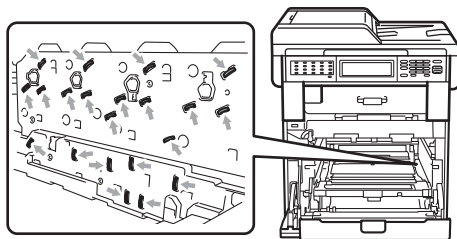
警告

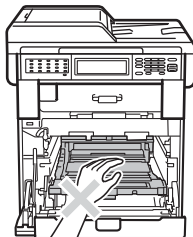
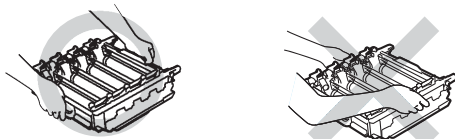
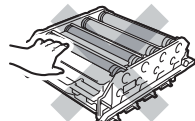
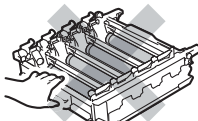
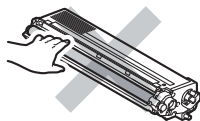
■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

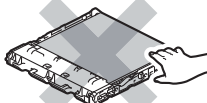
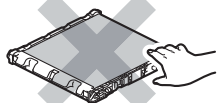
注意

■内部のお手入れをするときには、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>

<ベルトユニット>

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

本製品外部を清掃する

注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

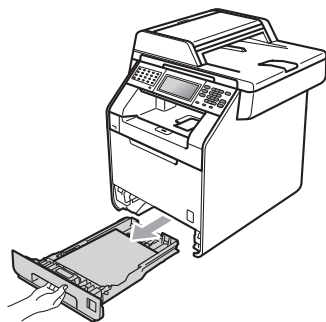
1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 記録紙トレイを完全に引き出して、記録紙を取り出す

4 清掃する

1 本製品の外側を拭く

2 記録紙トレイの内側と外側を拭く

5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 電源スイッチをONにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

⚠ 警 告

ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

注 意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

補足

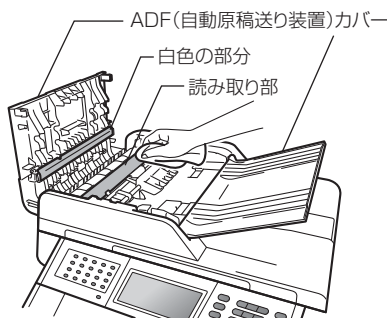
清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

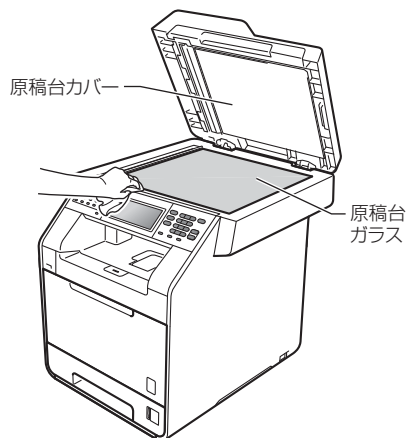
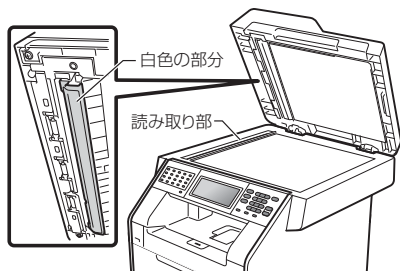
3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開く

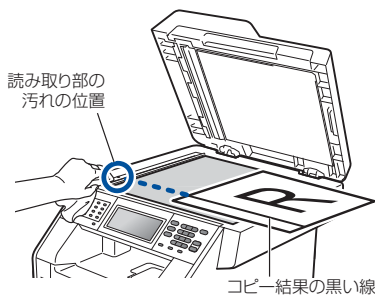
4 ADF（自動原稿送り装置）カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く

5 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

6 原稿台カバーを開く

7 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

2 原稿台カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く

注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。

■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

8 原稿台カバーを閉じる

9 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

10 電源スイッチをONにする

本製品内部を清掃する

本製品内部のスキャナーウインドーが汚れていると、印刷の濃度が薄くなります。次の手順でスキャナーウインドーを清掃してください。

1 電源スイッチをOFFにする

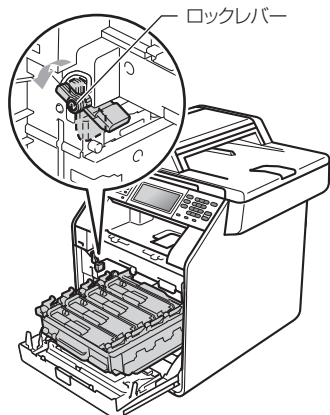
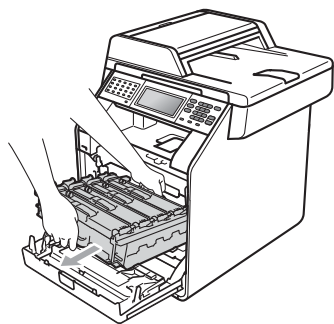
2 コード、ケーブルを取り外す

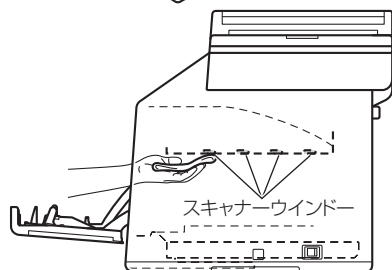
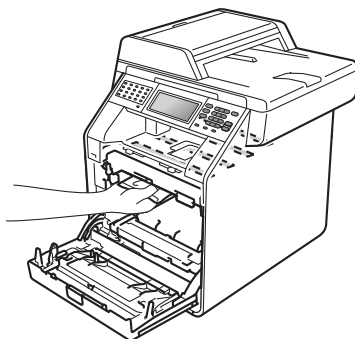
1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 清掃部を開ける

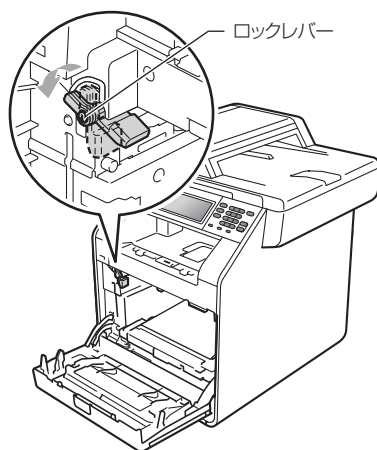
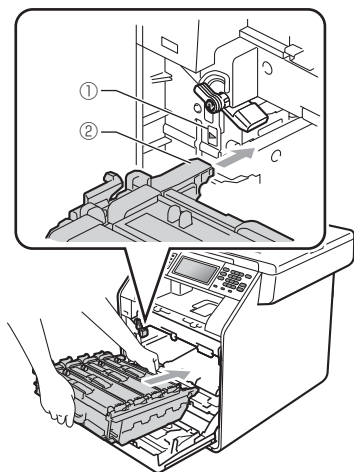
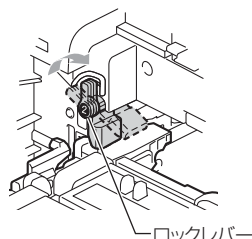
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

4 柔らかい乾いた布でスキャナーウインドーを拭く

注意

スキャナーウインドーはアルコールを浸した布で拭かないでください。

5 清掃部を閉じる

1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる
本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いているガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。

3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。

4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

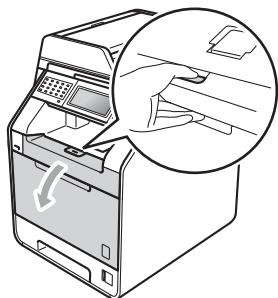
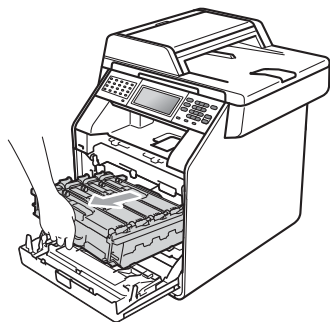
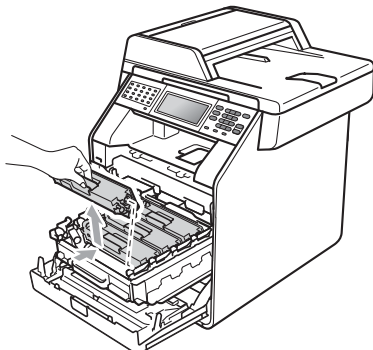
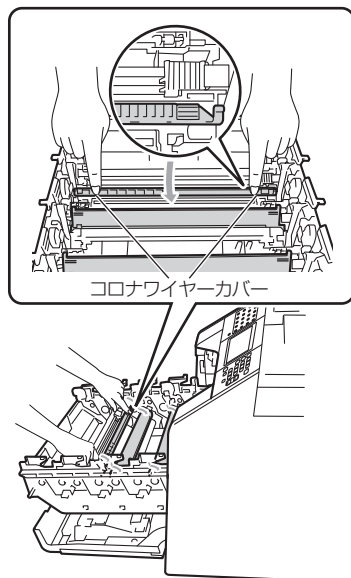
1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

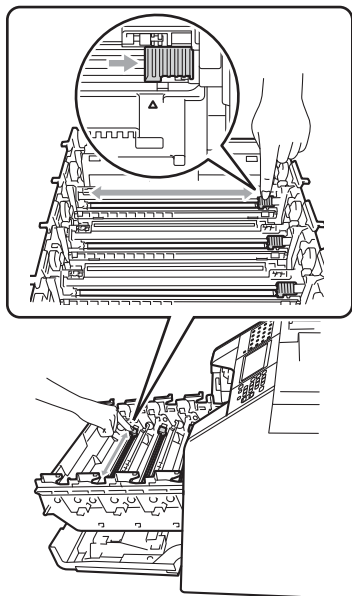
7 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

1 清掃部を開ける

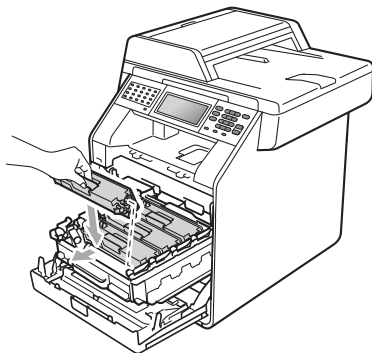
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

4 コロナワイヤーカバーの留め金を外し、カバーを開く

2 清掃する

1 緑色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

2 緑色のつまみは必ず元の位置（▲）に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

3 残りのコロナワイヤーも清掃する

3 清掃部を閉じる

1 コロナワイヤーカバーを閉じる

2 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける
取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。

3 残りのトナーカートリッジもドラムユニットに取り付ける

4 ドラムユニットを奥へ押し込む

5 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 ドラムチェックシートを印刷する

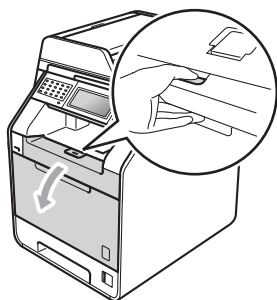
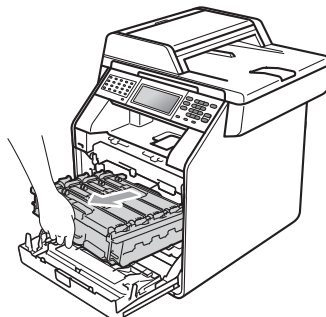
1 【メニュー】→【レポート印刷】→【▲】または【▼】で【ドラム汚れ印刷】を押し、<スタート>を押す
ドラムチェックシートが印刷されます。

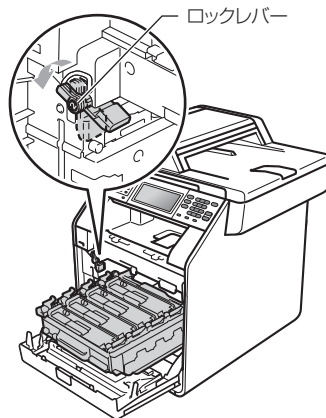
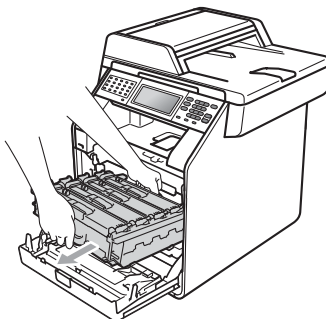
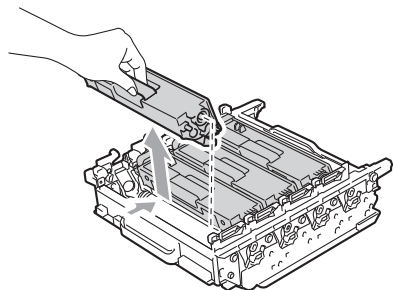
2 電源スイッチをOFFにする

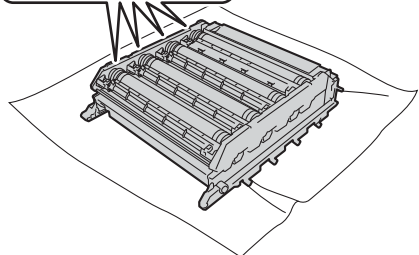
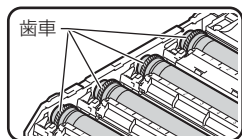
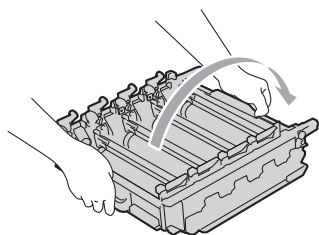
3 コード、ケーブルを取り外す

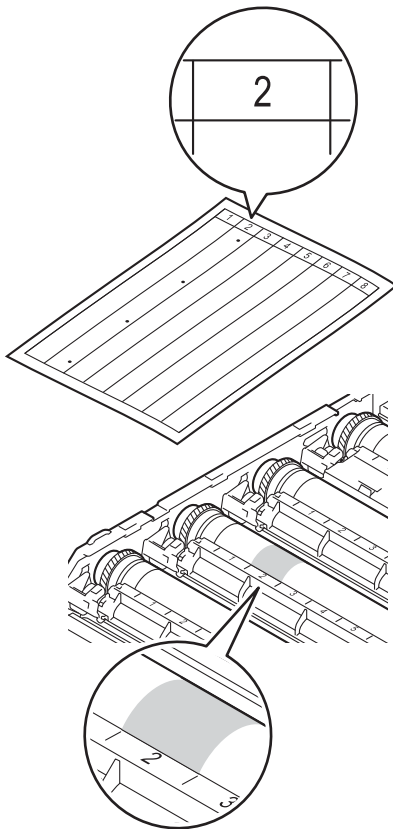
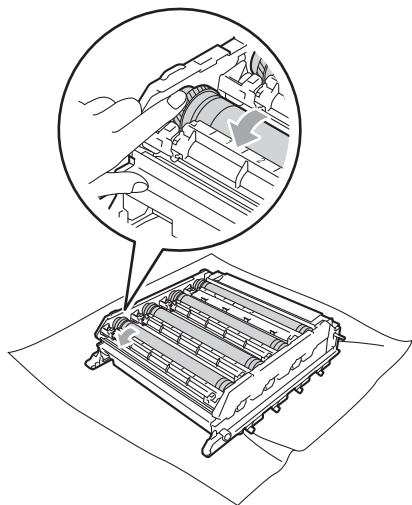
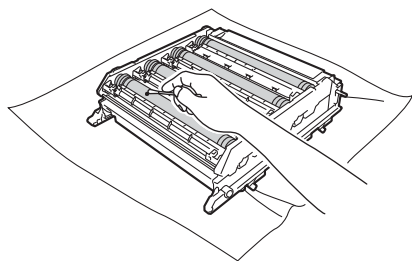
1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

4 ドラムユニットを取り出す

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

5 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

5 清掃する

1 ドラムユニットの歯車が緑色の取っ手の左側になるように、取っ手を持ってドラムユニットを裏返す

2 印刷したドラムチェックシートを確認する
印刷された色と、該当する番号を確認します。

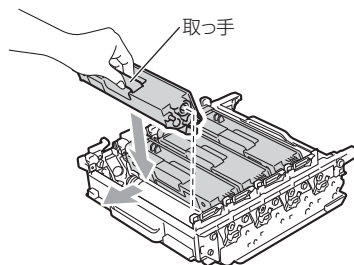
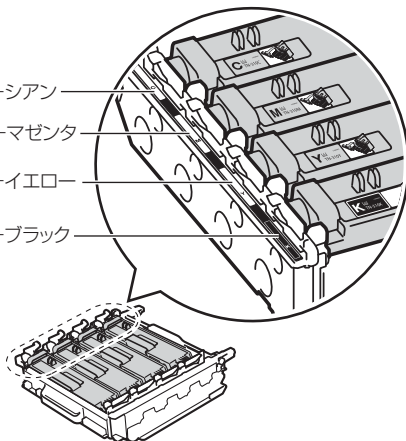
3 ドラムチェックシートの番号と、ドラムユニットのコラム番号を照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を探す
感光ドラムの汚れの場所を特定します。

4 ドラムユニットの歯車を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にする

5 感光ドラムの表面に付いた汚れを綿棒でふき取る

注意

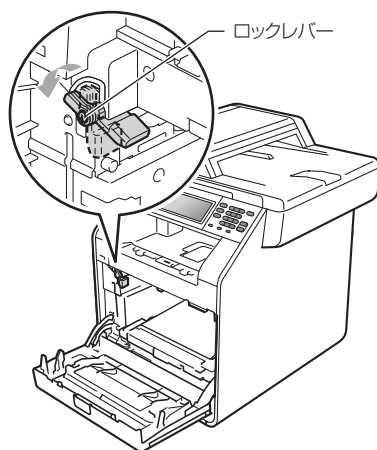
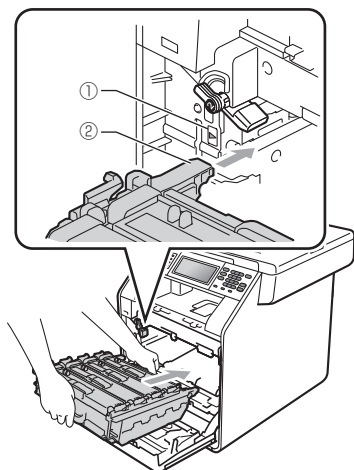
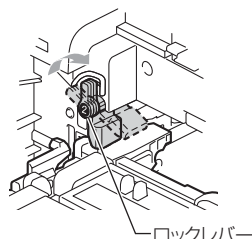
■感光ドラムの表面は指で触れないでください。

■感光ドラムの表面を尖ったもので拭かないでください。

■電動器具は使用しないでください。

6 トナーカートリッジをドラムユニットに取り付ける

トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付けます。取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。

7 元の状態に戻す

1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる
本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いているガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。

3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。

4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

8 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

9 電源スイッチをONにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

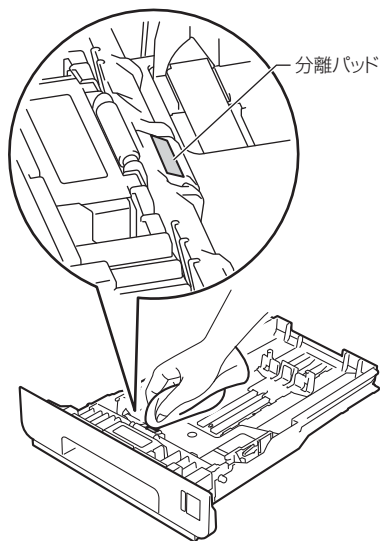
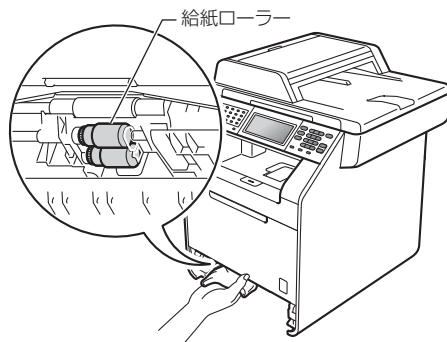
1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 記録紙トレイを完全に引き出して、記録紙を取り出す

4 清掃する

1 水または、ぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く

2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

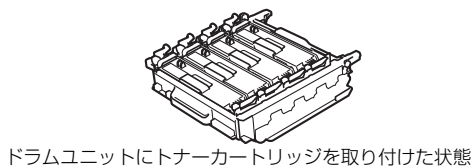
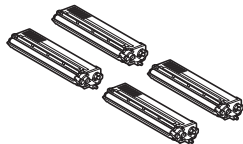
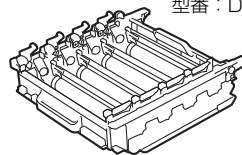
6 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 電源スイッチをONにする

消耗品の交換

トナーカートリッジとドラムユニットについて

本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナー、またはドラムユニットが寿命により使用できなくなったときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。

	シアン		マゼンタ		イエロー		ブラック	
	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数
付属トナーカートリッジ	−	約1,500枚	−	約1,500枚	−	約1,500枚	−	約2,500枚
標準トナーカートリッジ	TN-390C	約1,500枚	TN-390M	約1,500枚	TN-390Y	約1,500枚	TN-390BK	約2,500枚
大容量トナーカートリッジ	TN-395C	約3,500枚	TN-395M	約3,500枚	TN-395Y	約3,500枚	TN-395BK	約4,000枚
超大容量トナーカートリッジ	TN-398C	約6,000枚	TN-398M	約6,000枚	TN-398Y	約6,000枚	TN-398BK	約6,000枚

印刷可能枚数はJIS X 6932（ISO/IEC 19798）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6932（ISO/IEC 19798）とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

交換のしかたについては、⇒76ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒79ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

補足

- ドラムユニットはA4を1回に1ページジ印刷した場合、約25,000枚印刷できます。
- 消耗品の寿命は、実際の印刷方法や内容、使用環境により異なります。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話による注文も承っております。

【ご注文先】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット：http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト　　：右の二次元コードにアクセス
フリーダイヤル：0120−118−825
（土･日･祝日、長期休暇を除く9時〜12時、13時〜17時）

トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

警告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

注意

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

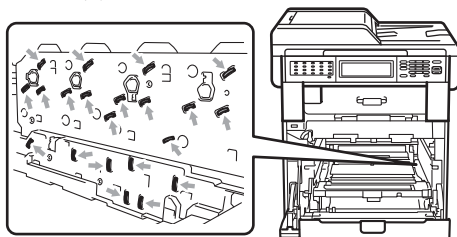
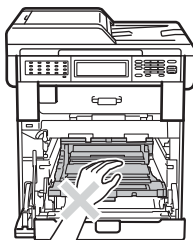
■トナーをまき散らして、吸い込んだり目に入ったりしないように注意してください。

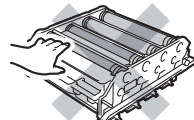
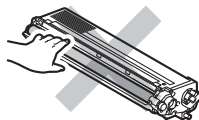
■誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

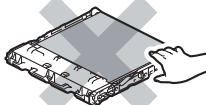
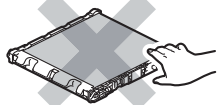
■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■トナーカートリッジは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品をご使用ください。⇒ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>　　<ドラムユニット>

<ベルトユニット>

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品をご使用ください。⇒ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

※ 新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。トナーが交換時期に近づくと、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

まもなくトナー交換

補足

液晶ディスプレイに「まもなくトナー交換」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。液晶ディスプレイに表示された色の新しいトナーカートリッジを購入し、「トナー交換」が表示される前に準備しておいてください。
(K)：ブラック、(C)：シアン、(M)：マゼンタ、(Y)：イエロー

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナー交換

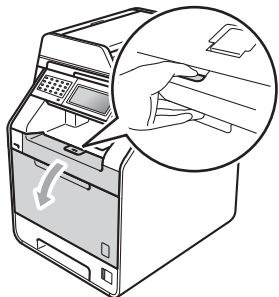
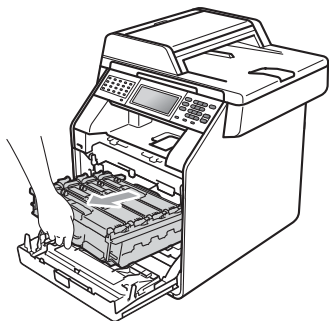
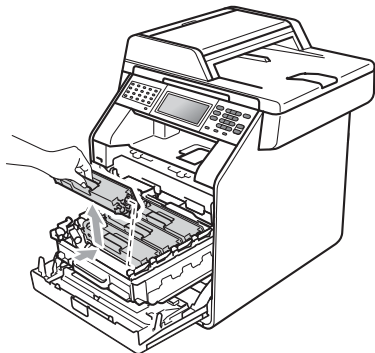
交換する必要のあるトナーカートリッジの色が表示されます。
一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

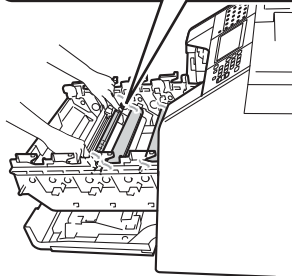
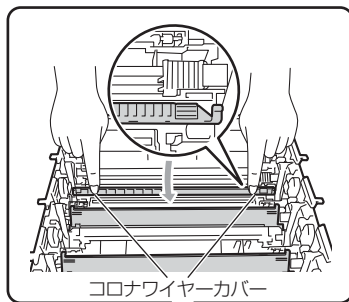
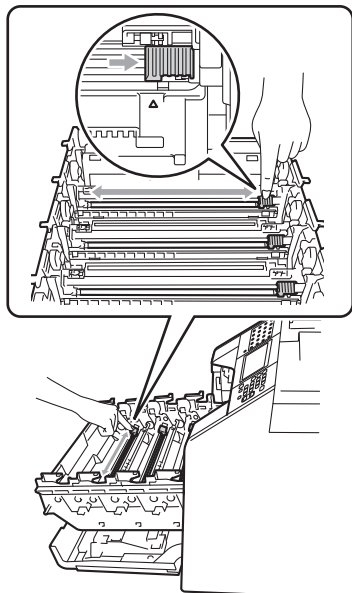
補足

- トナーの寿命は使用可能なトナーがなくなった場合やトナーが劣化した場合で検知され、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。
- 複数色のトナーを同時期に交換する場合、交換したトナーの劣化が同時に進むため、同時期にトナーの寿命と判断されることがあります。
- カラートナーが寿命になっても、ブラックトナーだけを使ってモノクロで印刷することができます。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒ 74 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

1 トナーカートリッジを取り出す

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

2 コロナワイヤーを清掃する

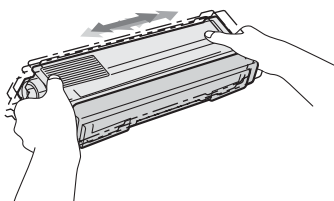
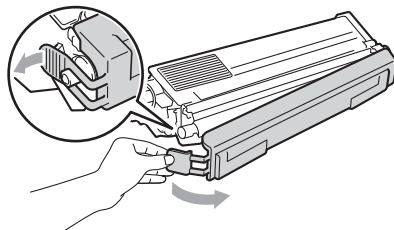
1 コロナワイヤーカバーの留め金を外し、カバーを開く

2 緑色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

3 緑色のつまみは必ず元の位置（▲）に戻す

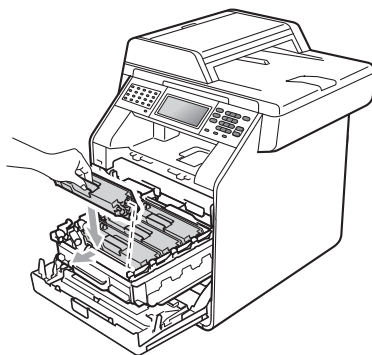
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

4 コロナワイヤーカバーを閉じる

5 残りのコロナワイヤーも清掃する

3 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封し、トナーが均等になるように左右に5〜6回ゆっくりと振る

2 保護カバーを取り除く

3 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける

取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。

4 元の状態に戻す

1 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す

2 フロントカバーを閉じる

注 意

液晶ディスプレイに「お待ちください」と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源スイッチをOFFにしたり、フロントカバーを開けると、新しいトナーを検知できない場合があります。

ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換を促がすメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

ドラムユニット交換のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。

ドラムエラー

コロナワイヤーを清掃してください。⇒66ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーを清掃しても「ドラムエラー」表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。
⇒79ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいドラムユニットに交換してください。

部品交換
ドラムユニット

新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、印刷品質を保証できません。

ドラム停止

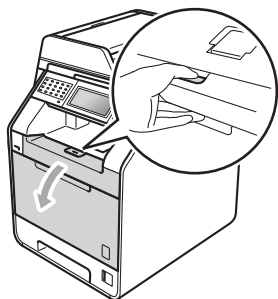
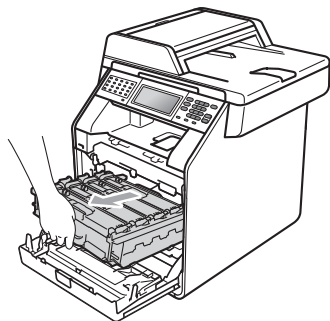
新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

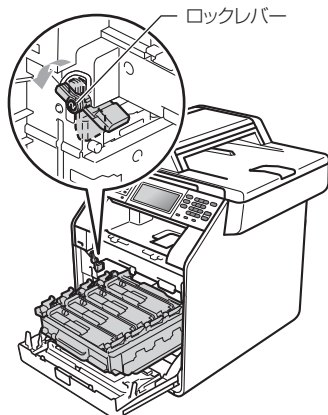
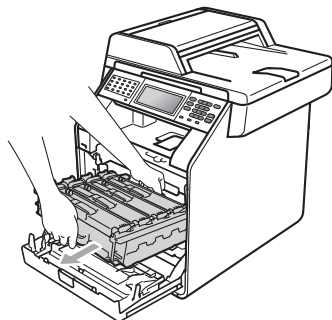
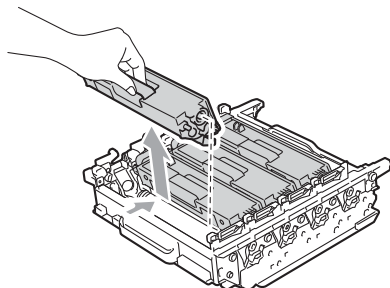
補足

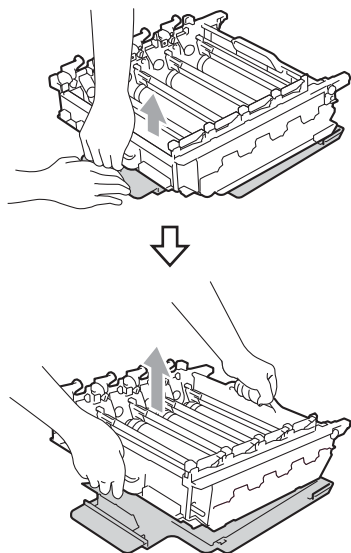
- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約25,000枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。
⇒60ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

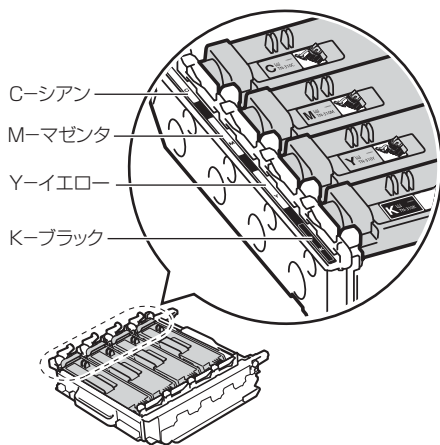
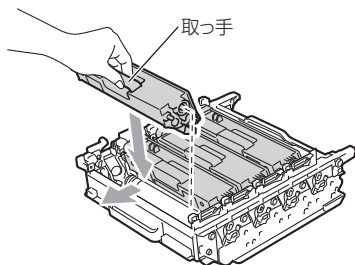
ドラムユニットを交換する

1 ドラムユニットを取り出す

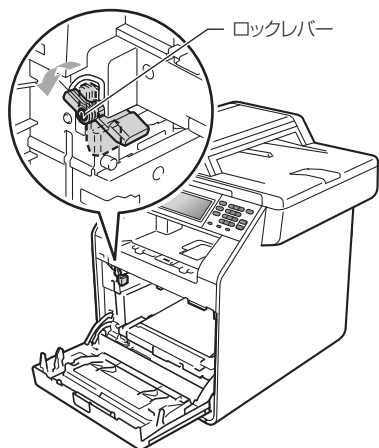
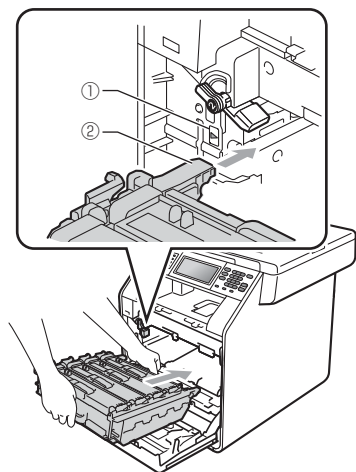
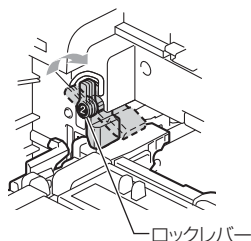
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

5 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

2 交換する

1 新しいドラムユニットを開封し、保護カバーを外す

2 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける

取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。

3 残りのトナーカートリッジもドラムユニットに取り付ける

3 元の状態に戻す

1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる
本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いているガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。

3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。

4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットのカウンターをリセットする

ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

1 【メニュー】→【製品情報】→【消耗品リセット】→【ドラム】を選択して、【はい】を押す

2 <停止/終了>を押す

ベルトユニットの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

ベルトユニットの交換メッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいベルトユニットに交換してください。

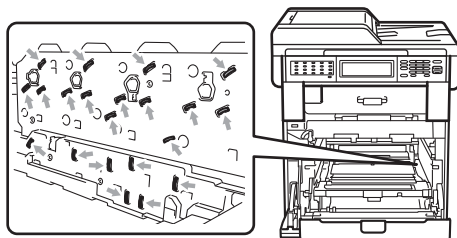
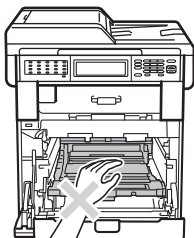
部品交換
ベルトユニット

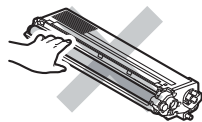
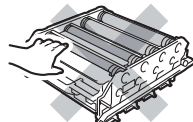
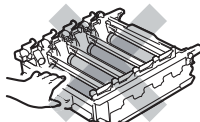
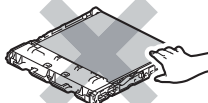
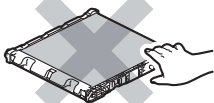
警 告

- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
  可燃性スプレーの例は次のとおりです。
  ・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

注 意

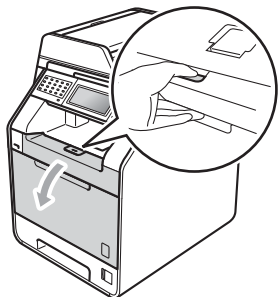
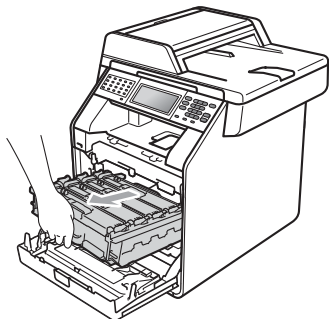
- ベルトユニットの誤った取り扱いによる故障は保証の対象とはなりません。
- ベルトユニットは再利用しないでください。
- ベルトユニットを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。
- 使用済みのベルトユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をしてください。⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- トナーをまき散らして、吸い込んだり目に入ったりしないように注意してください。
- 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐにふき取るか冷たい水で洗い流してください。
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ベルトユニットは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（型番：BU-300CL）をご使用ください。純正品以外のベルトユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

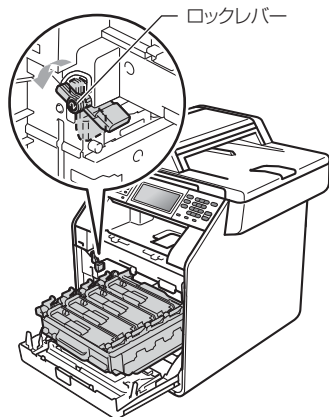
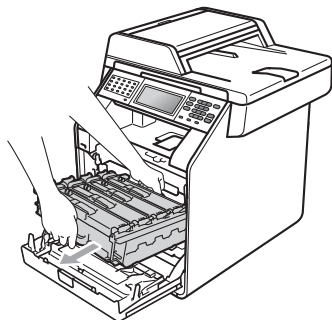
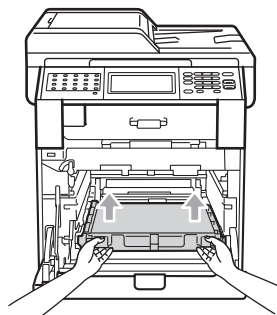
■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。

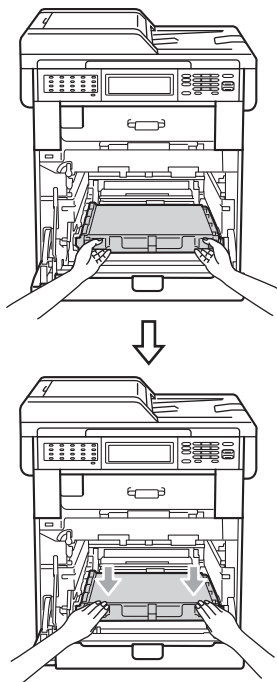
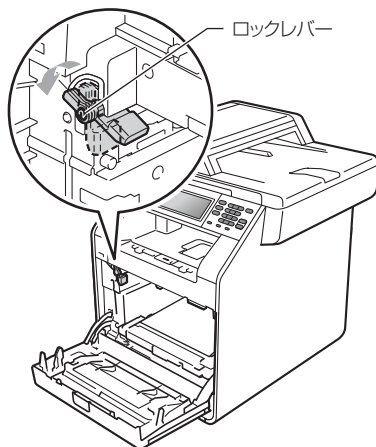
■トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

※ 新品のベルトユニットが入っていた袋をご利用ください。

ベルトユニットを交換する

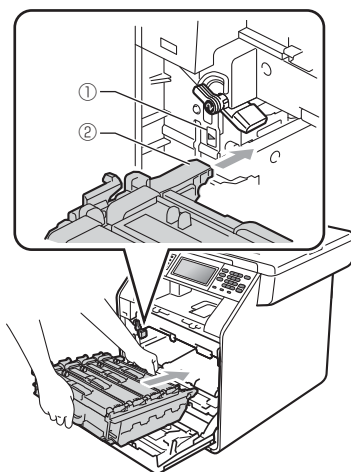
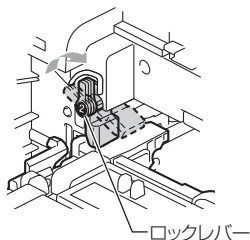
1 ベルトユニットを取り出す

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

5 ベルトユニットの緑色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す

2 交換する

新しいベルトユニットを開封し、本製品に取り付ける

3 元の状態に戻す

1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストの位置にあるか確認する

2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いているガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。

3 **ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す**
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。

4 **ドラムユニットを奥へ押し込む**
5 **フロントカバーを閉じる**

ベルトユニットのカウンターをリセットする

ベルトユニットを交換したときは、ベルトユニットのカウンターをリセットしてください。

1 **【メニュー】→【製品情報】→【消耗品リセット】→【ベルトユニット】を選択して、【はい】を押す**

2 **<停止/終了>を押す**

廃トナーボックスの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

廃トナーボックスの交換メッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しい廃トナーボックスに交換してください。
廃トナーボックスが交換時期に近づくと、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

部品交換
まもなく廃トナーボックス交換

補足

液晶ディスプレイに「まもなく廃トナーボックス交換」のメッセージが表示されたときは、廃トナーボックスの交換時期が近づいています。新しい廃トナーボックスを購入し、「廃トナーボックス交換」が表示される前に準備しておいてください。

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

廃トナーボックス交換

新しい廃トナーボックスに交換してください。

警告

■ 廃トナーボックスを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。爆発する恐れがあります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

注意

■廃トナーボックスは再利用しないでください。

■使用済みの廃トナーボックスを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をしてください。⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

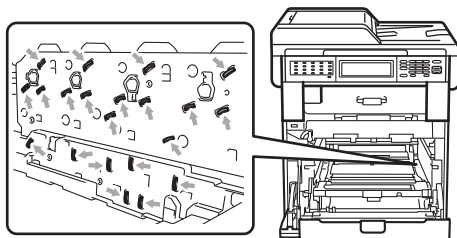
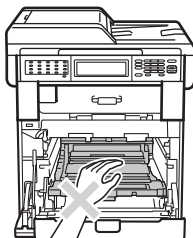
■トナーをまき散らして、吸い込んだり目に入ったりしないように注意してください。

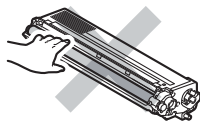
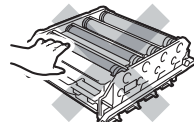
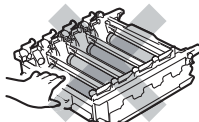
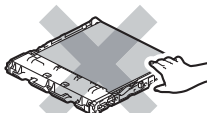
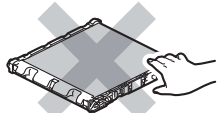
■誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐにふき取るか冷たい水で洗い流してください。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■廃トナーボックスは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（型番：WT-300CL）をご使用ください。純正品以外の廃トナーボックスを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

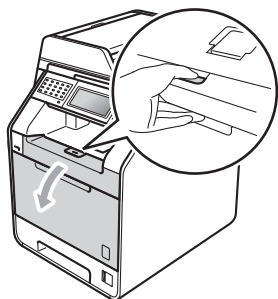
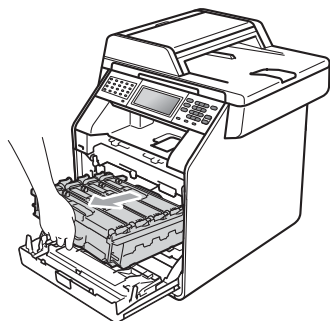
■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。

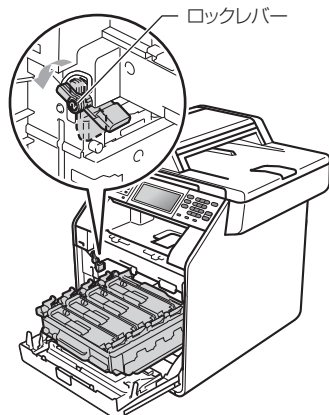
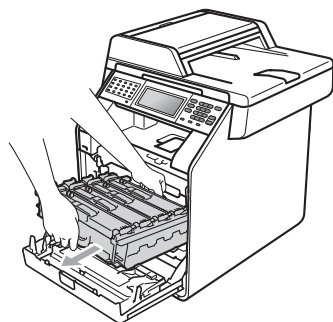
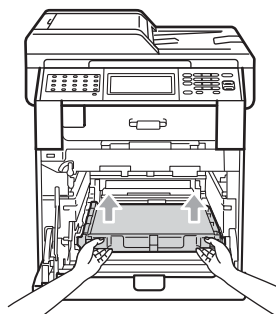
■トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>　　　　<ドラムユニット>

<ベルトユニット>

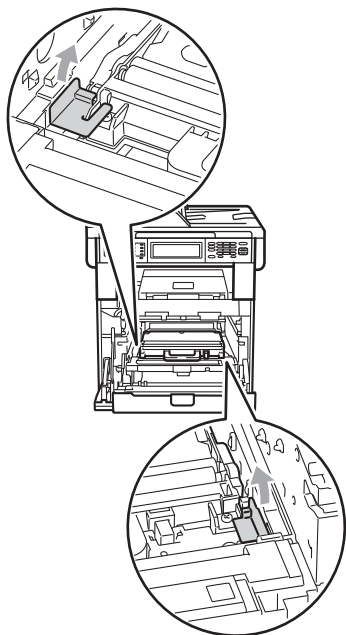
※ 新品の廃トナーボックスが入っていた袋をご利用ください。

廃トナーボックスを交換する

1 廃トナーボックスを取り出す

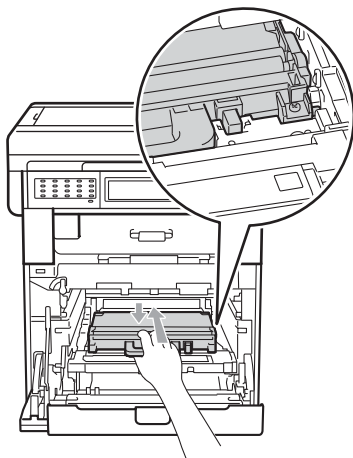
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

5 ベルトユニットの緑色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す

6 橙色の保護部材（2つ）を取り外す

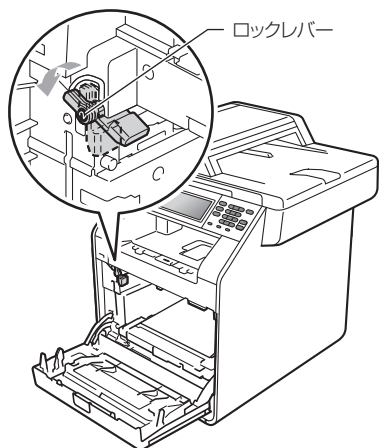
補足

この手順は、はじめて廃トナーボックスを取り出すときのみ必要です。橙色の保護部材は工場出荷時に取り付けられています。廃トナーボックスの交換後、再度取り付ける必要はありません。

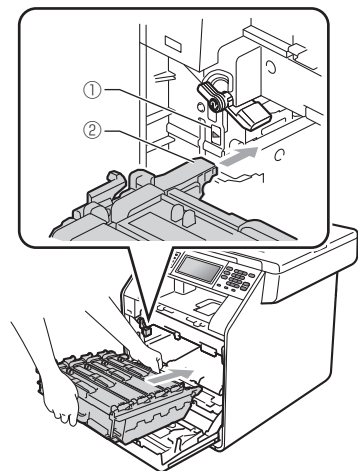
7 緑色の取っ手を持って廃トナーボックスを取り出す

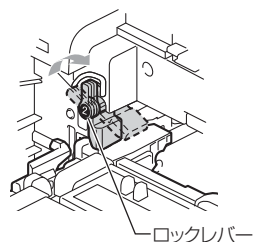
2 交換する

新しい廃トナーボックスを開封し、緑色の取っ手を持って本製品に取り付ける

3 元の状態に戻す

1 ベルトユニットを本製品に戻す

2 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

3 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いているガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。

4 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。

5 ドラムユニットを奥へ押し込む

6 フロントカバーを閉じる

定期交換部品の交換

ディスプレイに以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

- 部品交換　PFｷｯﾄMP
- 部品交換　PFｷｯﾄ1
- 部品交換　PFｷｯﾄ2
- 部品交換　ﾋｰﾀｰ
- 部品交換　ﾚｰｻﾞｰﾕﾆｯﾄ

補足

● PFキットMPとは多目的トレイ用のローラーホルダーと分離パッドのキットです。

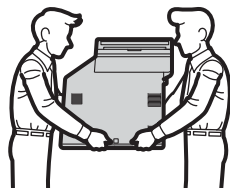
● PF キット 1/PF キット 2 とは記録紙トレイ 1 および記録紙トレイ 2 用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネのキットです。

● PFキットMPの概算寿命は50,000枚、その他の定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。残り寿命の確認は⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

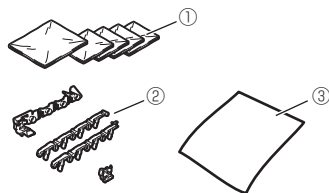
本製品を再梱包するときは

本製品を引越などで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

警 告

- 本製品の重量は約 28.5kg です。安全のため、本製品を持ち運ぶ際は、必ず 2 人以上でお持ちください。また、本製品を置くときには、指をはさまないように注意してください。
- オプションの増設記録紙トレイ 2 をご使用の場合は、本製品から取り外してください。

注 意

■再梱包を行う場合は、前もって電源スイッチをOFFにし、機械内部を十分に冷ましてください。

■以下のものがあるか、確認してください。
①梱包袋
（お客様にてご用意ください。）
②ドラムユニットを固定する橙色の保護部材（4個）
③A4サイズの用紙
（ベルトユニットの保護に使用します。お客様にてご用意ください。）

1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

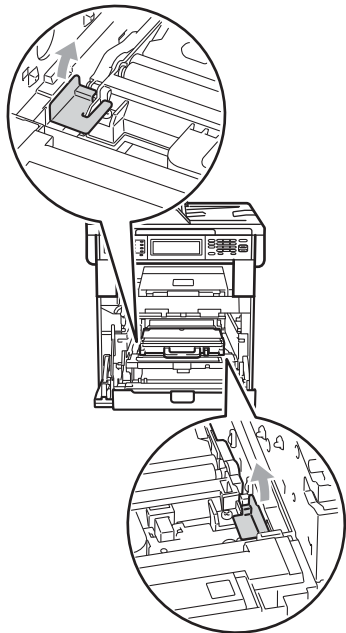
2 コード、ケーブルを取り外す

1 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

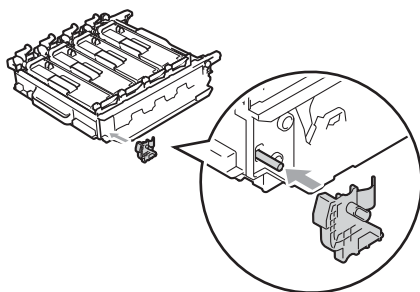
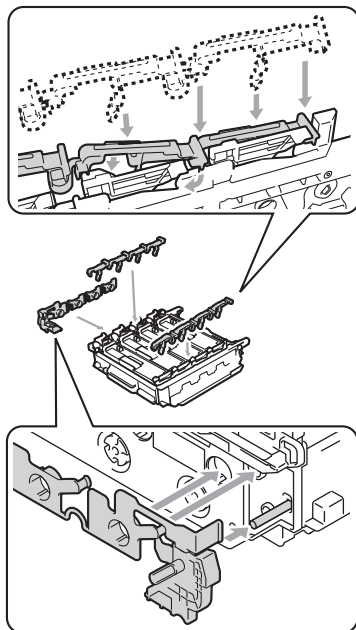
3 廃トナーボックスを梱包する

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く
2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す
3 本製品左側にある緑色のロックレバーを上げて、ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す
4 ベルトユニットの緑色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す

5 橙色の保護部材（2つ）を取り外す
取り外した保護部材は廃棄してください。

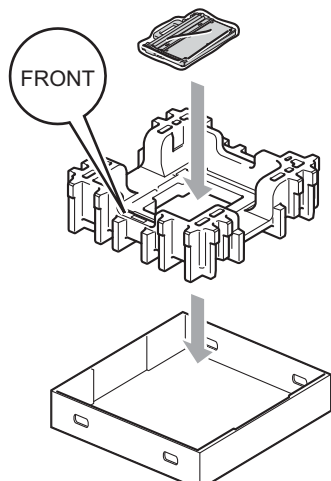
補足

この手順は、はじめて廃トナーボックスを取り出すときのみ必要です。橙色の保護部材は工場出荷時に取り付けられています。再度取り付ける必要はありません。

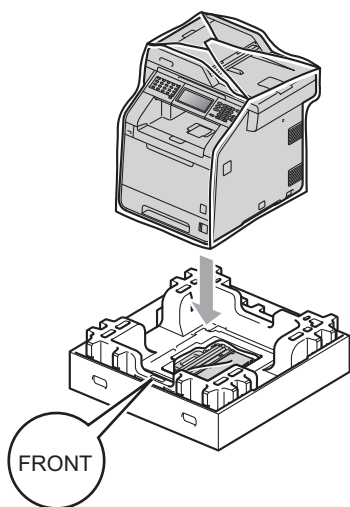
6 本製品から廃トナーボックスを取り出し、梱包袋に入れる
7 ベルトユニットを本製品に取り付ける

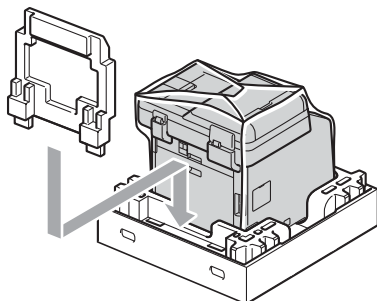
8 ドラムユニットを固定させるため、橙色の4つの保護部材をイラストのように取り付ける

9 ベルトユニットの破損を防ぐために、ベルトユニットの上にA4サイズの用紙を1枚置く
10 本製品左側にある緑色のロックレバーが上がっていることを確認する
11 ドラムユニットの先端の部分を本製品両端の矢印に合わせ、ドラムユニットを押し込む
12 緑色のロックレバーがロックの位置になっていることを確認する
13 ドラムユニットを本製品に取り付ける

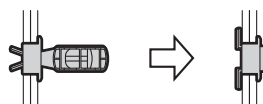
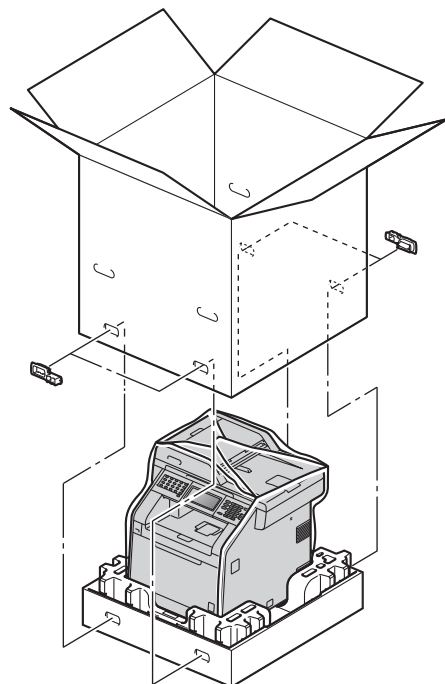
4 本製品や付属品を梱包する

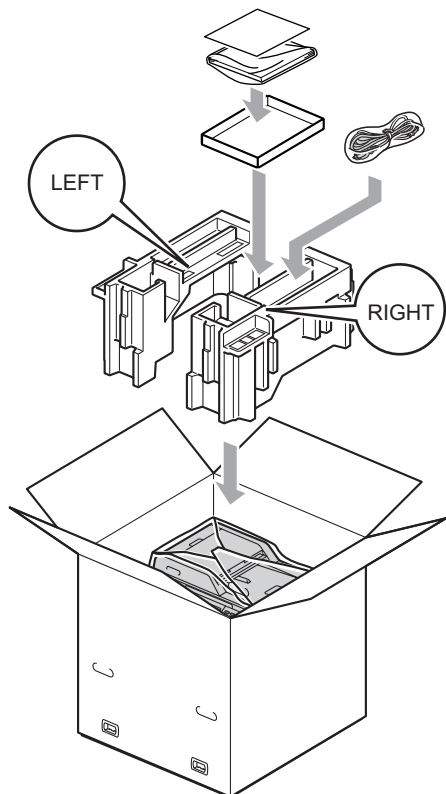
1 フロントカバーを閉じて、本製品をビニール袋に入れる

2 発泡スチロールに廃トナーボックスをセットし、外箱に入れる

3 本製品をセットする

発泡スチロールの「FRONT」と本製品の前面を合わせてセットしてください。

4 発泡スチロールをセットする

本製品の後ろ面に発泡スチロールをセットします。

5 外箱をイラストのように本製品にかぶせます。4 つの取っ手をイラストのように取り付けます。

箱は閉じないでください。

6 **本製品の上に発泡スチロールをセットし、箱型トレイボックス、電源コード、取扱説明書やCD-ROMなどを入れる**

発泡スチロールの「RIGHT」と本製品の右面、発泡スチロールの「LEFT」と本製品の左面を合わせてセットしてください。

7 **箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる**

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルがおきたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
色ずれ補正に失敗しました スタートボタンを押して、 やり直してください。 色補正 スタートボタンを押して、 やり直してください。	**本製品の電源スイッチを OFF にして、数秒後電源を入れ直してください** **新しいドラムユニットに交換してください** ⇒ 79 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 **新しいベルトユニットを取り付けてください** ⇒ 83 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。 **新しい廃トナーボックスを取り付けてください** ⇒ 88 ページ「廃トナーボックスの交換」を参照してください。 **再度エラーメッセージが表示された場合は、本製品を購入した販売店、またはお客様相談窓口へお問い合わせください**
印刷できません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **本製品の電源スイッチを OFF にし、フロントカバーを完全に開けます。そのままの状態で 30 分放置し水蒸気などを取り除いた後、フロントカバーを閉じて、電源を入れ直してください**
カバーが開いています	**定着ユニットカバーを完全に閉じてください** バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。 **フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください**
紙詰まり　後ろ	**本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 109 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　トレイ1	**記録紙トレイでつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 108 ページ「記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
紙詰まり　内部	**本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 110 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　両面	**記録紙トレイの裏側につまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 111 ページ「定着ユニットに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　多目的トレイ	**多目的トレイ（MP トレイ）でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 107 ページ「多目的トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
気温が低すぎます	**室温を上げてください**
記録紙サイズが違います	**メニューの記録紙サイズ設定を、正しいサイズに設定してください**
記録紙を送れません	**記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください** 問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 72 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。 **多目的トレイの記録紙を正しくセットしてください**
原稿詰まり ADF	**ADF（自動原稿送り装置）につまっている原稿を取り除いてください** 原稿を取り除いたら、＜停止 / 終了＞を押してください。 **読み込む原稿を短くして、読み込ませてください** ＜停止 / 終了＞を押して、原稿をセットし直してください。
サイズエラー　両面	**正しい記録紙をセットしてください** 両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
使用不能なUSB機器です	**接続したデバイス（USB メモリなど）を確認してください** 接続しているデバイス（USB メモリなど）は壊れているか互換性がない可能性があります。
初期化できません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
スキャンできません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
切断されました	**少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください**
小さい記録紙を印刷します	**印刷された記録紙が背面から排出されるように、バックカバー(背面排紙トレイ)を開いてから <スタート(モノクロ / カラー)> を押してください**
通信エラー	**相手先のポーリング設定を確認してください** **別のファクスから送信するか、接続をしなおして送信できるか確認してください** 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口へご連絡ください。
登録されていません	**ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルに登録してください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「電話帳の登録と編集」を参照してください。
トナーが確認できません	**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り出してください** 再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください。
トナーがセットされていません	**ディスプレイに表示されている色のトナーカートリッジを正しく取り付けてください** ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジを正しく取り付けてください。
トナー交換	**ディスプレイに表示された色のトナーカートリッジを交換してください** ⇒ 76 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
ドラムエラー	**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください** ⇒ 66 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 **ドラムユニットを交換してください** ⇒ 79 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
ドラム停止	**ドラムユニットを交換してください。** ⇒ 76 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
廃トナーボックス交換	**廃トナーボックスを交換してください** ⇒ 79 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
話し中/応答がありません	**電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください**
ヒーターエラー	**電源スイッチを OFF にします。2 ～ 3 秒後、もう一度、電源スイッチを ON にして、そのまま 15 分お待ちください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。
部品交換 ドラムユニット	**ドラムユニットの交換時期です** 印刷品質が目立って低下したら消耗品を交換してください。 **ドラムユニットのカウンターをリセットしてください** ⇒ 82 ページ「ドラムユニットのカウンターをリセットする」を参照してください。
部品交換 ヒーター	**ヒーターの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 ベルトユニット	**ベルトユニットを交換してください** ⇒ 83 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。
部品交換 PFキット1	**PF キット 1 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 PFキット2	**PF キット 2 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 PFキットMP	**PF キット MP の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 まもなく廃トナーボックス交換	**新しい廃トナーボックスを購入し、「廃トナーボックス交換」が表示される前に準備しておいてください**
部品交換 レーザーユニット	**レーザーユニットの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
ベルトユニットがありません	**ベルトユニットを取り付けてください** ⇒ 83 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。
まもなくトナー交換	**ディスプレイに表示された色の新しいトナーカートリッジを購入し、「トナー交換」が表示される前に準備しておいてください** **(K)：ブラック、(C)：シアン、(M)：マゼンタ、(Y)：イエロー**

液晶ディスプレイ表示	解決方法
メモリがいっぱいです	**< キャンセル > を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください** セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリの空き容量を確保してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** < 停止 / 終了 > を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、< スタート（モノクロ / カラー）> を押して読み込まれた分だけを送信もしくはコピーしてください。 **印刷中のとき** 文書の複雑さを減らすか、解像度を下げてからもう一度試してください。もしくは保存されているデータを消去して、メモリの空き容量を確保してください。 市販の SO-DIMM メモリで本製品のメモリを増やしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
用紙サイズが合いません	**正しい記録紙をセットしてください** メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
Cooling Down しばらくお待ちください。	**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください** ファンが回転している場合は、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源スイッチを ON にしたまま約 10 分お待ちください。 ファンが回転していない場合は、電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください。メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。
DIMM Error	**本製品の電源スイッチを OFF にし、メモリ（SO-DIMM）をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** 数秒後電源を入れ直します。再度エラーメッセージが表示された場合は、メモリ（SO-DIMM）を新しいものに交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。解除方法を説明するイラストと説明文を【◀】または【▶】で見ることができます。

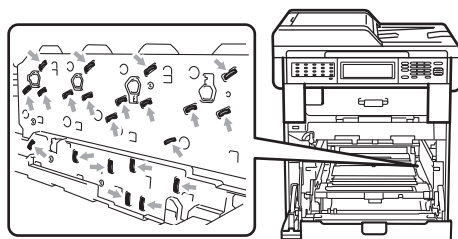
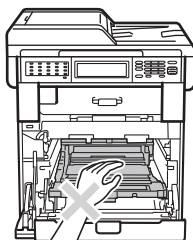
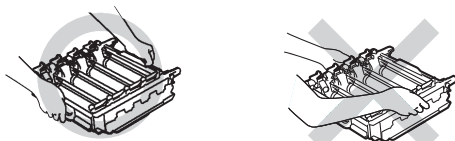
原稿がつまったとき ⇒106ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。	原稿詰まり ADF
記録紙がつまったとき ⇒107ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。	紙詰まり XXXX XXXXXXX

“XXXXXXX”は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

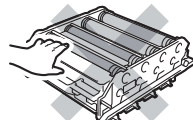
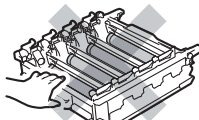
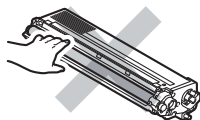
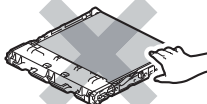
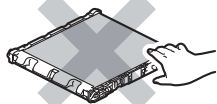
注意

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>

<ベルトユニット>

■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

補足

使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒26ページ「使用できない記録紙」を参照してください

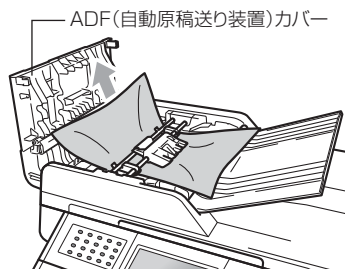
原稿がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

原稿詰まり　ADF

ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿をゆっくり上に引いて取り除く

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

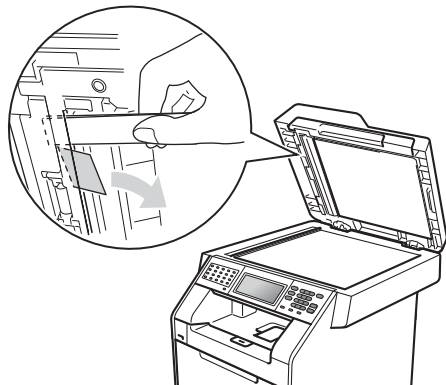
2 原稿台カバーを開き、つまった原稿をゆっくり引き出す

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

1 原稿台カバーを開く

2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り出す

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿をゆっくり引き出す

3 <停止/終了>を押す

記録紙がつまったとき

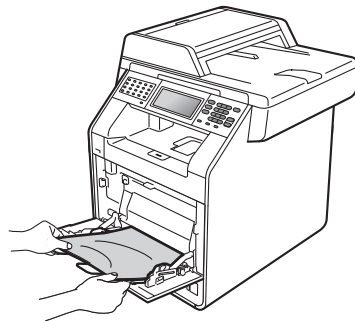
多目的トレイに記録紙がつまったとき

ディスプレイに次のように表示されたときは、多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙がつまっています。

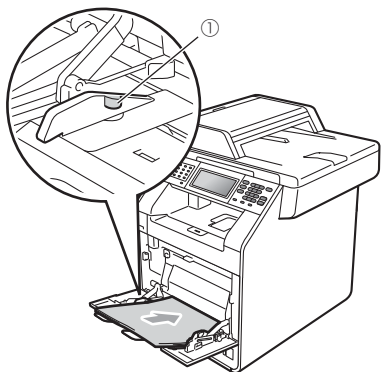
紙詰まり　多目的トレイ

1 多目的トレイからつまっていない記録紙を取り除く

2 つまった記録紙を取り除く

両手で静かに引き出してください。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 多目的トレイに記録紙をセットする

補足

用紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。

5 <スタート（モノクロ/カラー）>を押す

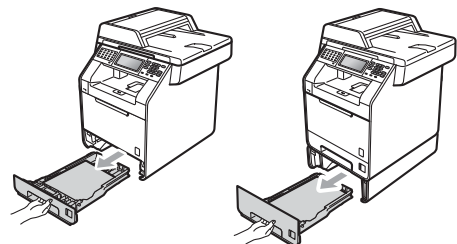
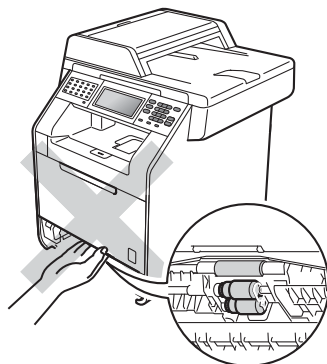
記録紙トレイに記録紙がつまったとき

ディスプレイに次のように表示されたときは、記録紙トレイ（トレイ1）/増設記録紙トレイ（トレイ2）に記録紙がつまっています。

紙詰まり　トレイ1

紙詰まり　トレイ2

1 本製品から該当の記録紙トレイを完全に引き出す

注意

給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。

2 つまった記録紙を取り除く

両手で静かに引き出してください。

3 該当の記録紙トレイを本製品に戻す

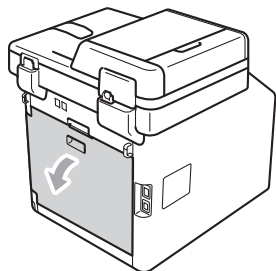
記録紙が記録紙トレイの▼▼▼マークを超えないようにセットされているか確認してください。

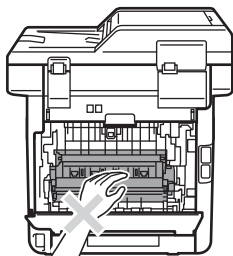
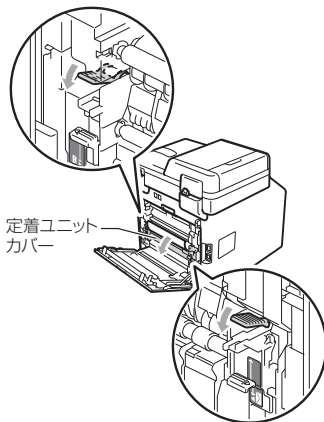
背面に記録紙がつまったとき

ディスプレイに次のように表示されたときは、バックカバー内に記録紙がつまっています。

紙詰まり　後ろ

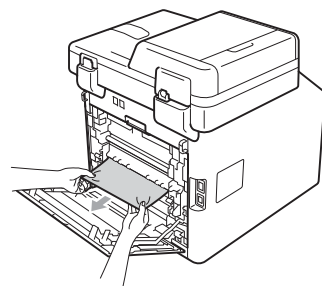
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 バックカバーを開ける

⚠ 注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

3 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く

補足

左右の灰色のレバーの◀／▶マークが✉マークの位置になっていたら、元の位置までレバーを上げてください。

4 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

補足

つまった用紙を取り除くことができないときは、本製品の内部からつまった用紙を取り除いてください。詳しくは、⇒110ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

5 定着ユニットカバーとバックカバーを閉じる

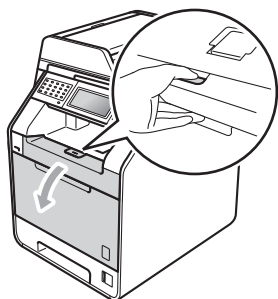
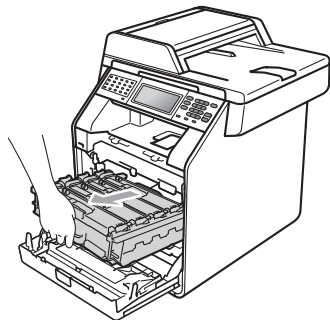
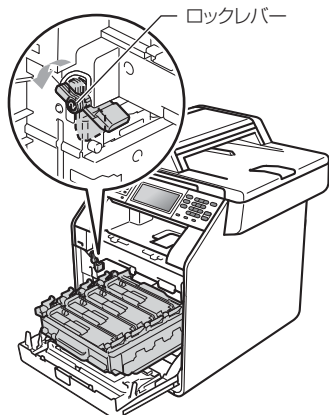
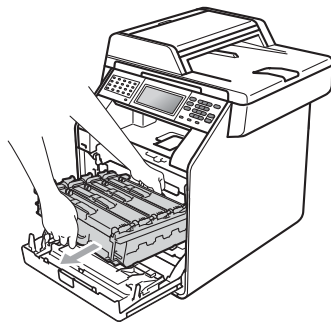
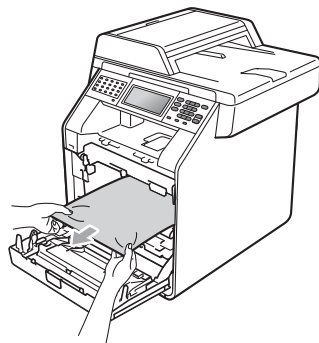
本製品の内部に記録紙がつまったとき

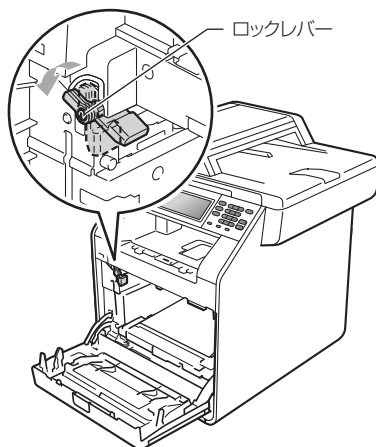
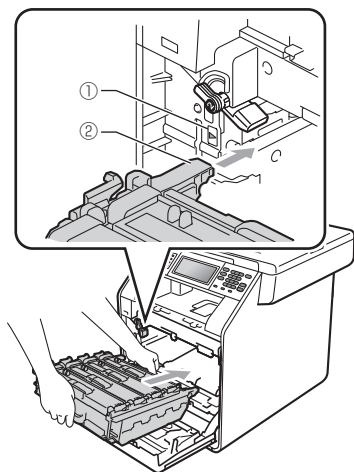
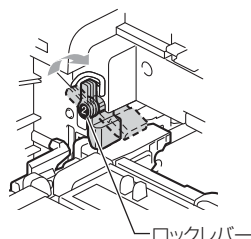
ディスプレイに次のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。

紙詰まり　内部

1 電源スイッチをOFFにする

2 ドラムユニットを取り出す

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

3 つまった記録紙を取り除く

4 元の状態に戻す

1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストの位置にあるか確認する

2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる
本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いているガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。

3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。

4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

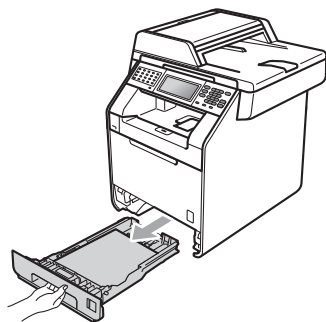
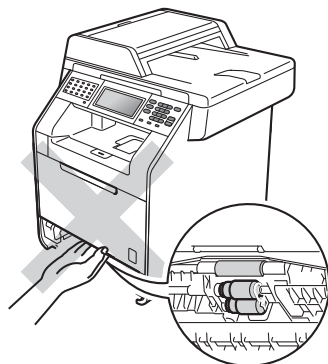
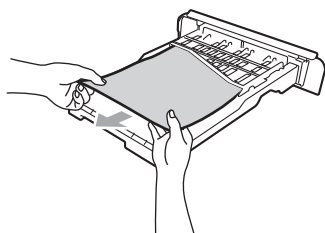
5 電源スイッチをONにする

定着ユニットに記録紙がつまったとき

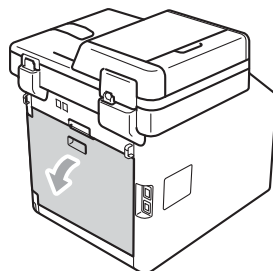
紙詰まり　両面

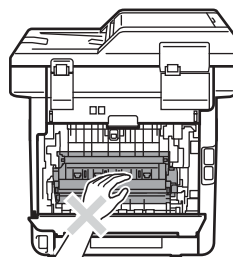
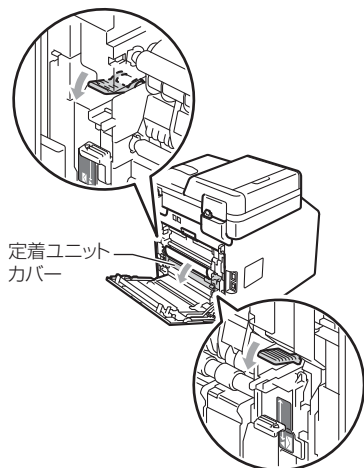
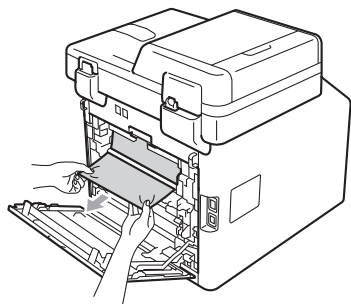
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

注意

給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。

3 本製品内部底辺に紙がつまっていない場合は、記録紙トレイの裏側を確認する

補足

この時点で記録紙トレイを本製品に戻さないでください。

4 記録紙トレイに用紙がつまっていない場合は、バックカバーを開ける

⚠ 注意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

5 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く

6 つまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引いて取り除く

7 元の状態に戻す

1 定着ユニットカバーを閉じる
2 バックカバーを閉じる
3 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
電源コードは差さっていますか	電源コード（壁側、本体側）を確実に差し込んでください。
本製品の電源スイッチはONになっていますか	本製品の電源を ON にしてください。 <電源が入らない場合> • （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。 • 本製品の電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、本製品の電源を入れ直します。
トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 76 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 79 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
給紙ローラーが汚れていませんか	⇒ 72 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
液晶ディスプレイが「記録紙を送れません」と表示していませんか	記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。
記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか	記録紙を少し減らしてセットしてください。
原稿が正しく送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	• 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 • ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。 • 原稿が薄すぎたり、厚すぎたりしている場合や原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。 ⇒ 34 ページ「原稿台ガラスにセットする」を参照してください。 • 原稿のサイズを確認してください。 • 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 106 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。

ここを確かめてください	対処方法
記録紙を正しくセットしていますか	⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
記録紙がつまってないか確認してください	⇒ 107 ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。 フロントカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが「両面」に設定されているか確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定しているか確認してください。

コピーできない

ここを確かめてください	対処方法
コピーモードになっていますか	＜コピー＞が点灯しているか確認してください。
セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	本製品の管理者にセキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①ケーブルが正しく接続されていますか	本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。)
②「通常使うプリンタ」の設定になっていますか	[プリンター] アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、次の手順に従って、チェックマークを付けます。 <Windows® 7> [スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを付けます。 <Windows Vista®> [スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。 <Windows® XP> [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。 <Windows® 2000> [スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。
③液晶ディスプレイがエラーメッセージを表示していませんか	⇒ 99 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！(エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
④オフラインの状態になっていませんか	プリンターがオフラインになっていないか確認します。 <Windows® 7> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンターをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンターをオンラインにする］をクリックしてください。 <Windows Vista®> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。

ここを確かめてください	対処方法
⑤「一時停止」の状態になっていませんか	プリンターが一時停止の状態になっていないか確認します。 <Windows® 7> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows Vista®> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。
⑥印刷待ちのデータがありませんか	印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。 <Windows® 7> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows Vista®> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。

ここを確かめてください	対処方法
⑦印刷先（ポート）の設定が間違っていませんか	<Windows® 7> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows Vista®> ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。
⑧セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。
⑨アドビ・イラストレーターを使用していますか	印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。
⑩お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください	本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、本製品の電源を入れ直してください。
⑪プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください	本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 **（多目的トレイ（MP トレイ）使用時）** • 原稿をよくさばいてからセットしなおしてください。 • プリンタードライバーの給紙方法が MP トレイを選択しているか確認してください。
USBxxx:への書き込みエラーが表示される	液晶ディスプレイに「トナー交換」と表示されていませんか。 • 液晶ディスプレイに表示されている色のトナーカートリッジを交換してください。⇒ 76 ページ「トナーカートリッジ交換のメッセージ」を参照してください。

コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに次の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー /印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

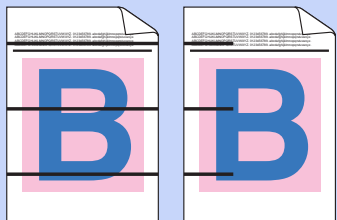
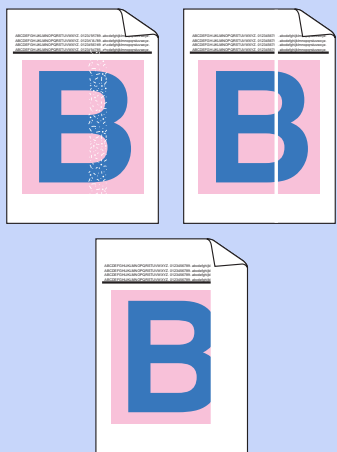
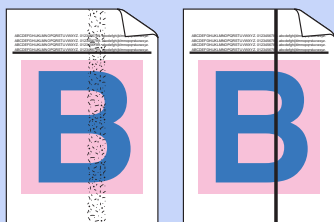
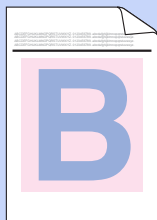
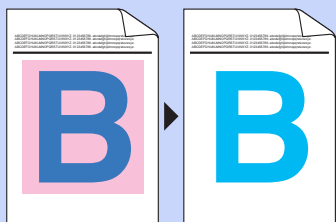
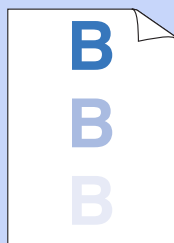
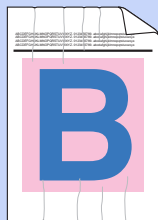
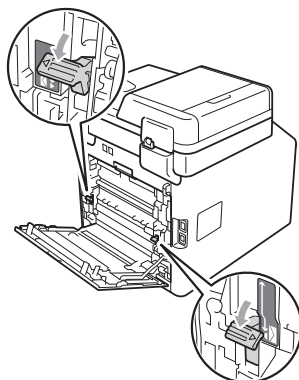
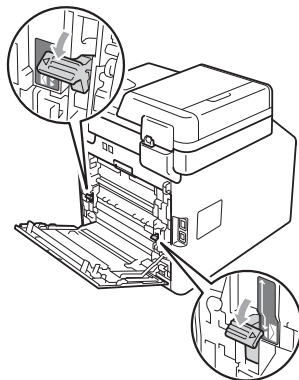
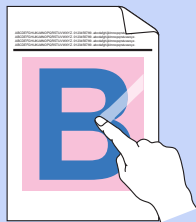
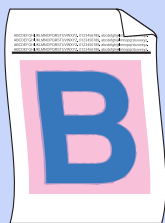
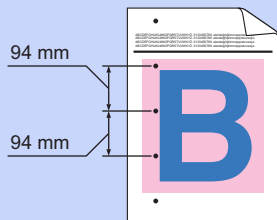
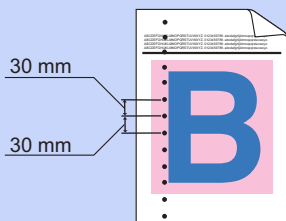
1. 本製品の仕様を満たしている用紙を使用しているか確認してください。⇒ 24 ページ「記録紙の基本」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

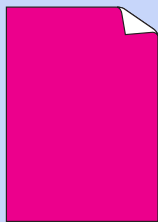
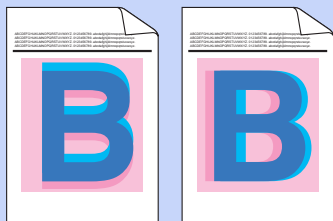
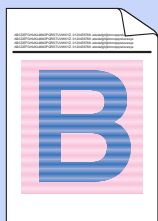
最適な印刷品質で印刷するために、推奨紙の使用をおすすめします。

2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れるまたは、上下左右の文章が切れる	原稿の上下左右に、印刷可能領域があるので、余白を調整して印刷しなおしてください。
A4サイズより小さい原稿を原稿台ガラスからコピーする場合に印刷結果が切れる	コピーするときに使用する記録紙トレイの設定を「記録紙トレイ ＃１のみ」、「記録紙トレイ ＃２のみ」（増設記録紙トレイ装着時）、または「多目的トレイのみ」のいずれかに設定し、選択した記録紙の記録紙サイズを原稿と同じサイズに設定してください。 コピー終了後、もとの設定に戻してください。 記録紙トレイの設定は、⇒ユーザーズガイド応用編「全体にかかわる設定」、記録紙サイズの設定は、「セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する」を参照してください。
色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い	画質の設定を「テキスト」に設定し、コントラストのレベルを変更してください。 ⇒ 52 ページ「画質を設定する」、⇒ 53 ページ「コントラストを設定する」を参照してください。
何も印刷されない（真っ白）	• 原稿を表と裏を間違えてセットしている可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の場合は、コピーする面を上にして、原稿台ガラスの場合は、コピーする面を下にして原稿をセットしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく入れなおし、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果が薄すぎるか濃すぎる	• コントラストまたは明るさを印刷条件に合わせて調整してください。お買上げ時は中央に設定されています。 ⇒ 53 ページ「コントラストを設定する」、⇒ 52 ページ「明るさを設定する」を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく入れなおし、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
印刷されたページに、白い線が横方向に現れる 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択してください。 • 本製品内部で結露している可能性があります。複数ページを印刷してください。改善されない場合は、2 時間程度放置してください。 • ドラムユニットが破損している場合は、新しいドラムユニットに交換してください。 • 破れた紙片がスキャナウィンドーを覆っていることがあります。その場合は、紙片を取り除いてください。 • きれいな柔らかい布でスキャナウィンドーを清掃してください。⇒ 61 ページ「本製品外部を清掃する」を参照してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
色の付いた線が横方向に現れる	• 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
印刷されたページに、 白い線が縦方向に現れる	• 破れた紙片がスキャナーウインドーを覆っていることがあります。その場合は、紙片を取り除いてください。 • きれいな柔らかい布でスキャナーウインドーを清掃してください。⇒ 63 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 68 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。 ⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) をご覧ください。
画像のずれが起こる	• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーが持ち上がっているか確認してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。低温、乾燥などは、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
色の付いた線が縦方向に現れる 	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。 ⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットの緑色のつまみをスライドさせて、ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 66 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットの緑色のつまみが元の位置（▲）にあることを確認してください。 • 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
全体に色が薄いまたはぼやけている 	•「省エネモード」の「トナー節約モード」が「オフ」になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 4 つすべてのトナーカートリッジをゆっくり振ってください。 • 乾いた起毛がない柔らかい布で、スキャナーウインドーの汚れやちりをふき取ってください。⇒ 63 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。 • 色補正を行ってください。⇒ユーザーズガイド 応用編「色合いや色ずれを補正する」を参照してください。
印刷されたページに白い部分が現れる 	• 数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムユニットが汚れている可能性があります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 68 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 推奨紙を使用してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
一部の色が抜けている	• 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
背景が灰色になる	• 推奨している記録紙を使用してください。 • 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。
斜めに印刷される	• 記録紙ガイドが、セットした記録紙のサイズに正しく合っているか確認してください。 • 多目的トレイをご利用の場合は、⇒ 29 ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合は減らしてください。 • ADF（自動原稿送り装置）からのコピーの場合は、原稿ガイドが原稿の幅に正しく合わせられているか確認してください。⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。 • 推奨している記録紙を使用してください。
ゴーストイメージが印刷されたページに現れる	• 推奨している記録紙を使用してください。 • 用紙種類の設定を「厚紙」に変更してください。 • 用紙サイズの設定を適切に変更してください。 • 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へご連絡ください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
しわが寄ったり折れ曲がって印刷される 	• 推奨紙を使用してください。 • バックカバーが正しく閉められているか確認してください。 • バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーが持ち上がっているか確認してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される 	封筒を印刷するときは、バックカバーを開け、バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーの◀/▶マークが✉マークにあっているか確認してください。
はがきがカール、またははがきの印刷結果が悪い 	バックカバーを開け、バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーの◀/▶マークが✉マークにあっているか確認してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷された箇所を指でこすると汚れる 	• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーが持ち上がっているか確認してください。 • プリンタードライバーの［トナーの定着を改善する］を選択してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。それでも解決しない場合は、「超厚紙」に用紙種類を選択してください。
カールしたり波打って印刷される 	• プリンタードライバーの［用紙のカールを軽減する］を選択してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。それでも解決しない場合は、用紙種類をお使いの記録紙より 1 段階薄く設定してください。 • 本製品を頻繁に使わない場合は、記録紙トレイに用紙を入れたまま長期間放置されます。トレイの中の用紙を裏返すか、用紙をさばいた後に向きを 180 度回転させてください。 • 高温多湿の場所で放置していない用紙をセットしてください。
印刷されたページに周期的な点が現れる 	• 数ページ印刷しても問題が解決されない場合は、ドラム表面に汚れが付着した可能性があります。⇒ 68 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
30mmごとに色の付いた斑点が現れる 	問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果がかすれる 	• 「トナー節約モード」を「オフ」に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 66 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換してください。 • 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。 • 原稿台ガラスを清掃してください。
トナーが飛び散り、汚れる 	• 本製品の設置環境を確認してください。湿気、高温などは、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 推奨している記録紙を使用してください。 • トナーカートリッジを交換してください。 • ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 66 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へご連絡ください。
印刷の色が異なる	• 「省エネモード」の「トナー節約モード」が「オフ」になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 色補正を行ってください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • プリンタードライバーの拡張設定や操作パネルから色補正を行います。本製品で印刷できる色とコンピューターのモニターで表示される色は異なります。モニターと同じ色を本製品で再現できない場合もあります。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 陰影部分の画像品質が予想していたものと異なる場合は、プリンタードライバーの［黒色を強調して印刷する］のチェックボックスにチェックをしてください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。 • 画像の陰影部分がくすんでいる場合、［グレーの印刷を改善する］のチェックボックスにチェックをしてください。 • 新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 問題が続く場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
黒い汚れが平行に繰り返し入る 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • ラベル紙を使用の場合は、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。 ドラムユニットを清掃してください。⇒ 68 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれていることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。 • クリップやホチキスがついた記録紙を使用すると、ドラム表面が傷ついてしまっている可能性があります。ドラムの表面を確認して、傷がついている場合は、ドラムを交換してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換してください。
点々が不規則に現れる 	• トナーカートリッジから本製品内部にトナーが漏れていないか確認してください。漏れている場合は、新しいトナーカートリッジと交換してください。 • コピーを数枚してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
印刷されたページに、 線が縦方向に現れる 	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。 ⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • コロナワイヤーの緑色のつまみが元の位置（▲）にあるか確認してください。 • ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 66 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 感光ドラムの表面にトナーや粘着性の汚れがついている場合は、乾いた布でふきとってください。感光ドラムの場所は、⇒ 68 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。純正品の型番と購入方法については、⇒ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。 • 定着ユニットに汚れがある可能性があります。 お客様相談窓口へご連絡ください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
すべて1色で印刷される 	新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
色ズレが起こる 	• 本製品を固く水平な面の上に設置しているか確認してください。 • 自動色ずれ補正、または手動色ずれ補正を行ってください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。 • 新しいベルトユニットに交換してください。⇒ 83 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。
色むらが起こる 	• 色補正を行ってください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 濃さの異なっている色を特定し、その色の新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
細線の画像が欠けている	•「省エネモード」の「トナー節約モード」が「オフ」になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 印刷解像度を変更してください。 • Windows® のプリンタードライバーを使用している場合は、［パターン印刷を改善する］または［細線の印刷を改善する］チェックボックスをチェックしてください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows® の場合、Presto! PageManager で［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、「選択」をクリックしてください。 Macintosh の場合、［ファイル］－［取り込みデバイスを選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、「選択」をクリックしてください。
OCRが使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒21 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	「安心通信モード」を設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP)】の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	電話線を正しく接続してください。
送信確認レポートで、「結果エラー」と印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているか確認してください。
登録している電話番号に、ポーズ「p」が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ「p」が入っている場合は、削除してください。
IPフォンを使用していますか	ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
IP網を使用した専用線を使用していますか	「安心通信モード」を【標準】に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ADSL環境ですか	• ブランチ接続（並列）接続をしないでください。 • ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは	対処方法
自動受信できない	• 呼出回数が多すぎないか確認してください。在宅モードのときは呼出回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 または、手動で受信してください。 • 自動で記録紙に印刷したいときは、「転送 / メモリ受信」の設定を「オフ」にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
リモート受信できない	•「リモート受信」の設定を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • リモート起動番号を正しくダイヤルしてください。 お買い上げ時は「＃５１」に設定されています。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • メモリがいっぱいになっている場合があります。メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	「特別回線対応」の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 それでも受信できないときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。
IP網を使用している	「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。

こんなときは	対処方法
ファクスを複数枚送信できない（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	「リアルタイム送信」を、【オフ】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください	対処方法
トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは	対処方法
受信したファクスが分割されて2ページに印刷される	「自動縮小」を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
受信したファクスの画像が乱れる	• 相手に画質を変更して送信してもらってください。 • キャッチホンが途中で入っていませんか。「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの166番にお尋ねください。 • ブランチ接続（並列接続）はしないでください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
受信したファクスに縦の線が現れる	• ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。⇒ 66 ページ「コロナワイヤーの清掃」参照してください。 コロナワイヤー清掃後、緑色のつまみが元の位置（▲）にあることを確認します。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 79 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

こんなときは	対処方法
受信したファクスに、水平の線が現れる または、行が抜ける	• 回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。 •「安心通信モード」の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
相手側で受信したファクスが鮮明でない	• スキャナーを清掃してください。 ⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。「ファイン」または「スーパーファイン」モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、「写真」モードを選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
送信したファクスに縦の線が現れる	原稿台ガラス、読み取り部、原稿台カバーを清掃してください。
送信したファクスに横の線が現れる	• キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 44 ページ「電話モード」を参照してください。 •「安心通信モード」の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください	対処方法
受話器から「ツー」という音が聞こえますか	本製品に接続している電話機が本製品の外付電話(EXT.)端子に接続していることを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	• 手動で回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へのお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください	対処方法
電源は入っていますか	本製品の電源スイッチが ON になっているか確認してください。また電源コードも確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になってるか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。 契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
ISDNを使用していますか	• ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。 • ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。 異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 • 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 •「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
ISDN回線で、複数の回線を契約していますか	• ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。 • まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTTにおたずねください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください	対処方法
「親切受信」が「オン」に設定されていませんか	本製品の「親切受信」が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。 本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください	対処方法
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、正しく接続しなおしてください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
電話番号が表示されない	• ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、ブランチ接続（並列接続）をしないでください。 • NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDNを使用していますか	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になってるか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください	対処方法
USBケーブル、LANケーブルが長すぎないか、破損または故障していませんか	• USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。 • ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。
インターフェイス切替器を使用していますか	インターフェイス切替器をとりはずして、直接本製品と接続してください。

マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない

ここを確かめてください	対処方法
プリンター LPR用ドライバーで［イメージタイプ］の設定を確認してください	「イメージタイプ」の設定を「写真」にしてください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した

ここを確かめてください	対処方法
ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

液晶ディスプレイの文字が読みにくい

ここを確かめてください	対処方法
液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか	液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください	対処方法
スピーカーの近くにアンテナがありませんか	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。

5 付録

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

【メニュー】ボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
基本設定	モードタイマー	―	―	0 秒 30 秒 1 分 2 分 5 分 切	ファクスモードに戻る時間を設定します。「切」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	記録紙トレイ設定	多目的トレイ	―	**記録紙サイズ** A4 USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 フリー ハガキ **記録紙タイプ** 普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 光沢紙	多目的トレイにセットする記録紙のタイプとサイズを設定します。	⇒31 ページ
		記録紙トレイ#1	―	**記録紙サイズ** A4 USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 ハガキ **記録紙タイプ** 普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙	記録紙トレイ＃1にセットする記録紙のタイプとサイズを設定します。	

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照 ページ
基本設定	記録紙トレイ 設定	記録紙トレイ #2※	−	**記録紙サイズ** A4 USレター A5 B5 B6 **記録紙タイプ** 普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙	記録紙トレイ＃２にセットする記録紙のタイプとサイズを設定します。	⇒31 ページ
		トレイ選択 ：コピー	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒31 ページ
		トレイ選択 ：ファクス	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒31 ページ
		トレイ選択 ：プリンター	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	プリンター印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒31 ページ
	音量	着信音量	−	切 小 中 大	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ボタン確認 音量	−	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		スピーカー 音量	−	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※ オプションの増設記録紙トレイ2（LT-300CL）を増設したときにメニューが表示されます。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照 ページ
基本設定	省エネモード	トナー節約 モード	−	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。「オン」に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		スリープ モード	−	3 分 (0-210 分)	スリープ状態になるまでの時間を設定します。消費電力を節約することができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	画面の設定	画面の明るさ	−	明るく 標準 暗く	画面の明るさを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		照明ダウン タイマー	−	切 10 秒 20 秒 30 秒	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	−
	セキュリティ	セキュリティ 機能ロック	パスワード 設定	−	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザーごとにロックします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
			ロック オフ ⇒オン ロック オン ⇒オフ			
			Setup ID			
		セキュリティ 設定ロック	パスワード 設定	−	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
			ロック オフ ⇒オン			

ファクス

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照 ページ
ファクス	受信設定	ファクス 無鳴動受信	－	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		呼出回数	－	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～10回の間で設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		再呼出回数	－	8 15 20	「自動切換えモード」のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		親切受信	－	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品の<スタート（モノクロ/カラー）>を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		リモート受信	－	オン オフ　(起動番号:#51)	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		自動縮小	－	オン オフ	A4 サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		転送/ メモリ受信	－	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 PCファクス受信	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		印刷濃度	－	-2 -1 0 1 2	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		受信スタンプ	－	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		両面印刷	－	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒45 ページ

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照 ページ
ファクス	送信設定	とりまとめ 送信	–	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送付書設定	印刷サンプル	–	送付書をサンプルとして印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			送付書 コメント	–	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	レポート設定	送信結果 レポート	–	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		通信管理間隔	–	レポート出力しない 50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ファクス出力	–	–	–	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	暗証番号	–	–	暗証番号：---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ダイヤル制限 機能	直接入力	–	オフ 2度入力 オン	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ワンタッチ ダイヤル	–	オフ 2度入力 オン		
		短縮ダイヤル	–	オフ 2度入力 オン		
		LDAP サーバー	–	オフ 2度入力 オン		
	通信待ち一覧	–	–	–	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	その他	安心通信 モード	–	高速 標準 安心 (VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ナンバー ディスプレイ	–	オン オフ 外付け電話優先	NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

プリンター

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容	参照ページ
プリンター	エミュレーション	－	－	自動 HP LaserJet BR-Script 3	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	プリンターオプション	フォントリスト	HP LaserJet	－	内蔵フォントの種類を印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
			BR-Script 3	－		
		プリンター設定	－	－	プリンターの設定を印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		テストプリント	－	－	テストチャートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	両面印刷	－	－	オフ 長辺綴じ 短辺綴じ	両面印刷時の内容を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	印刷カラー	－	－	自動 カラー モノクロ	印刷時のカラーを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	プリンターリセット	－	－	はい いいえ	プリンターの設定を初期状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	色補正	色補正実施	－	はい いいえ	色補正を行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		リセット	－	はい いいえ		
	自動色ずれ補正	－	－	はい いいえ	各カラーの印刷位置を自動調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	手動色ずれ補正	色ずれチャート印刷	－	－	色ずれを補正するためのプリントチャートを出力します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		補正値入力	－	1 マゼンタ左 2 シアン左 3 イエロー左 4 マゼンタ中央 5 シアン中央 6 イエロー中央 7 マゼンタ右 8 シアン右 9 イエロー右	色ずれチャートで出力された位置の色ずれを手動で調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	補正頻度	－	－	普通 低い オフ	画質補正を自動で行う頻度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

レポート印刷

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	内容	参照 ページ
レポート印刷	送信結果レポート	表示	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		印刷	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	機能案内	－	機能の解説を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳リスト	メモリ番号順	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		名前順	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	通信管理レポート	－	送信･受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定内容リスト	－	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	着信履歴リスト	－	着信した履歴を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ネットワーク設定リスト	－	ネットワークの設定内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ドラム汚れ印刷	－	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	無線LANレポート	－	無線LANの現在の接続状況を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

ネットワーク

メイン メニュー	サブ メニュー1	サブ メニュー2	サブ メニュー3	サブ メニュー4	選択項目	内容
ネットワーク	有線LAN	TCP/IP設定	IP取得方法	―	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IP の取得方法を指定します。
			IP アドレス	―	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	IPアドレスを設定します。
			サブネット マスク	―	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	サブネットマスクを設定します。
			ゲートウェイ	―	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			ノード名	―	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			WINS設定	―	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			WINS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	WINSサーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			DNS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	DNS サーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			APIPA	―	オン オフ	APIPAを設定します。
			IPv6	―	オン オフ	IPv6を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	サブ メニュー４	選択項目	内容
ネットワーク	有線LAN	イーサネット	–	–	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto： 自動接続により選択します。 100B-FD/ 100B-HD/10BFD/ 10B-HD： それぞれのリンクモードに固定されます。
		有線LAN状態	–	–	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 未接続 有線LANオフ	有線LANの接続状態を表示します。
		MACアドレス	–	–		MAC アドレスを表示します。
		初期設定に戻す	–	–	はい いいえ	有線LANのネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。
		有線LAN有効	–	–	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
	無線LAN	TCP/IP設定	IP取得方法	–	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IP の取得方法を指定します。
			IPアドレス	–	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	IPアドレスを設定します。
			サブネットマスク	–	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	サブネットマスクを設定します。
			ゲートウェイ	–	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			ノード名	–	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			WINS設定	–	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	サブ メニュー 4	選択項目	内容
ネットワーク	無線LAN	TCP/IP設定	WINS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	WINSサーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			DNS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	DNS サーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			APIPA	–	オン オフ	APIPAを設定します。
			IPv6	–	オン オフ	IPv6を設定します。
		無線接続 ウィザード	–	–	–	ウィザード形式で無線LANの設定をします。
		WPS/AOSS	–	–	–	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		WPS (PIN方式)	–	–	–	WPS（PIN方式）で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		無線状態	接続状態	–	アクティブ(11b) アクティブ(11g) 有線LAN アクティブ 無線LAN オフ AOSS アクティブ 接続に失敗しました	接続状態を表示します。
			電波状態	–	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
			SSID	–	–	SSID（ネットワーク名）を表示します。
			通信モード	–	アドホック インフラストラクチャ なし	通信モードを表示します。
		MACアドレス	–	–	–	MAC アドレスを表示します。

メイン メニュー	サブ メニュー1	サブ メニュー2	サブ メニュー3	サブ メニュー4	選択項目	内容
ネットワーク	無線LAN	初期設定に 戻す	–	–	はい いいえ	無線LANのネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。
		無線LAN有効	–	–	オン オフ	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
	Eメール/ IFAX	メール アドレス	–	–	–	メールアドレスを設定します。 (最大60文字)
		サーバー設定	SMTP	SMTP サーバー	サーバー名 IP アドレス [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	SMTPサーバーを設定します。 (最大64文字)
				SMTP ポート	[1-65535]	SMTP認証を行うポート番号を設定します。
				SMTP認証	認証しない SMTP認証 POP before SMTP	SMTPの認証方式を設定します。
				SMTP over SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
				SMTP証明書の検証	オン オフ	SMTP サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			POP3	POP3 サーバー	サーバー名 IP アドレス [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	POP3サーバーを設定します。 (最大64文字)
				POP3 ポート	[1-65535]	POP3で使用するポート番号を設定します。
				アカウント名	–	アカウント名を設定します。 (最大20文字)
				パスワード	パスワード:******	POP3サーバーにログインするパスワードを設定します。
				POP3 over SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
				POP3証明書の検証	オン オフ	POP3 サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
				APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	サブ メニュー４	選択項目	内容
ネットワーク	Eメール/ IFAX	メール 受信 設定	自動受信	—	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
				ポーリング 間隔	10 [01-60]分	自動受信で「オン」を選んだ場合に、POP3サーバーへアクセスする間隔を設定します。
			ヘッダー印刷	—	全て ヘッダーのみ なし	メールヘッダ印刷を設定します。
			エラーメール 削除	—	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
			受信確認	—	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
		メール 送信 設定	メール タイトル	—	—	メールタイトルを設定します。
			サイズ制限	—	オン オフ	メールサイズ制限を設定します。「オン」に設定すると 1MB より大きいときは警告が表示されメールを送信することができません。
			受信確認要求	—	オン オフ	通知メッセージを設定します。
		リレー 設定	リレー 許可	—	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
			許可 ドメイン	—	リレーXX:リレー01*YYYYY	転送を許可するドキュメント名を登録します。
			リレー レポート	—	オン オフ	転送したあとのレポート出力を設定します。
	ネットワーク 設定リセット	—	—	—	はい いいえ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照 ページ
製品情報	シリアル No.	–	–	–	シリアルNo.を表示します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	印刷枚数表示	–	–	合計 ファクス/リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	消耗品寿命	ドラム寿命	–	–	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ベルトユニット 寿命	–	–	ベルトユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ヒーター寿命	–	–	ヒーター寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		レーザー寿命	–	–	レーザーユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		PFキットMP寿命	–	–	多目的トレイ PF キット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		PFキット1寿命	–	–	記録紙トレイ1PFキット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		PFキット2寿命※1	–	–	記録紙トレイ2PFキット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	消耗品 リセット※2	–	–	ドラム ベルトユニット	ドラムユニット / ベルトユニットカウンター数をリセットします。	⇒82 ページ ⇒87 ページ

※1 オプションの増設記録紙トレイ2（LT-300CL）を増設したときにメニューが表示されます。
※2 消耗品の交換時期にメニューが表示されます。

初期設定

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容	参照ページ
初期設定	受信モード	−	−	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	受信モードを設定します。	⇒45 ページ
	時計セット	時計セット	−	−	現在の日付・時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		タイム ゾーン	−	UTC +09:00	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	発信元登録	−	−	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	回線種別設定	−	−	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ダイヤルトーン設定	−	−	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ナンバー プレフィックス	−	−	オン オフ	PBX使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	特別回線対応	−	−	一般 ISDN PBX	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	リセット	機能設定	−	はい いいえ	コピー、ファクスなど各種機能でご使用にあわせて設定した内容ををお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ネットワーク	−	はい いいえ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		電話帳 & ファクス	−	はい いいえ	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		全設定	−	はい いいえ	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	表示言語	−	−	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒ユーザーズガイド 応用編

<ファクス>ボタン

操作パネルの<ファクス>を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
電話帳	メニュー	ワンタッチダイヤル登録	–	–	操作パネル上にあるワンタッチボタンに相手先番号と名前を登録します。（最大40件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		短縮ダイヤル登録	–	–	電話帳に短縮ダイヤルとして相手先番号と名前を登録します。（最大300件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		グループ登録	–	–	複数の相手先を「グループ」として登録します。（最大20件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		変更	–	–	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		削除	–	–	電話帳に登録されている相手先の情報を消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
両面ファクス	–	–	–	<u>オフ</u> 両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒45 ページ
音量	–	–	–	切 小 <u>中</u> 大	オンフック時の音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ファクス画質	–	–	–	<u>標準</u> ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を一時的に設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
原稿濃度	–	–	–	<u>自動</u> 濃く 薄く	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
原稿台スキャンサイズ	–	–	–	<u>A4</u> USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
同報送信	直接入力	–	–	–	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳	–	–	–		
タイマー送信	–	–	–	オン <u>オフ</u>	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
リアルタイム送信	–	–	–	オン <u>オフ</u>	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ポーリング送信	–	–	–	標準 機密 <u>オフ</u>	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照 ページ
送付書	－	－	－	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ポーリング受信	－	－	－	標準 機密 タイマー オフ	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
海外送信モード	－	－	－	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定を保持する	－	－	－	ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ リアルタイム送信 送付書	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定をリセットする	－	－	－	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

<コピー >ボタン

操作パネルの<コピー >を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	選択項目１	選択項目２	内容	参照ページ
コピー画質	－	－	自動 テキスト 写真 カーボン	－	印刷品質に合わせて設定します。	⇒52 ページ
拡大/縮小	100%	－	－	－	－	⇒49 ページ
	拡大	－	115% B5 ⇒ A4 141% A5 ⇒ A4 200%	－	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	⇒49 ページ
	縮小	－	50% 70% A4 ⇒ A5 83% 最大 ⇒ A4 87% A4 ⇒ B5 91% フルページ 94% A4 ⇒ USレター 97% USレター ⇒ A4	－		
	カスタム(25-400%)	－	－	－		
両面コピー	－	－	オフ 両面→両面 片面→両面 長辺綴じ原稿 両面→片面 長辺綴じ原稿 片面→両面 短辺綴じ原稿 両面→片面 短辺綴じ原稿	－	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	⇒49 ページ
トレイ選択	－	－	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ > トレイ#1 多目的トレイ > #1 > #2※ トレイ#1 > 多目的トレイ #1 > #2 > 多目的トレイ※	－	使用する記録紙トレイを設定します。	⇒52 ページ
明るさ	－	－	□□■□□ 暗い　0　明るい	－	コピーの明るさを調整します。	⇒52 ページ
コントラスト	－	－	□□■□□ －　0　＋	－	コピーのコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒53 ページ
スタック/ソート	－	－	スタック ソート	－	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	⇒49 ページ
レイアウトコピー	－	－	オフ (1 in 1) 2 in 1(縦長) 2 in 1(横長) 2 in 1(ID) 4 in 1(縦長) 4 in 1(横長)	－	複数の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	⇒50 ページ

※ オプションの増設記録紙トレイ2（LT-300CL）を増設したときにメニューが表示されます。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	選択項目１	選択項目２	内容	参照 ページ
カラー調整	レッド	－	薄く □□■□□ 濃く 0	－	画像の赤色部分の色合いを調整します。	⇒53 ページ
	グリーン	－	薄く □□■□□ 濃く 0	－	画像の緑色部分の色合いを調整します。	⇒53 ページ
	ブルー	－	薄く □□■□□ 濃く 0	－	画像の青色部分の色合いを調整します。	⇒53 ページ
設定を保持する	－	－	コピー画質 明るさ コントラスト カラー調整	はい いいえ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
設定をリセットする	－	－	はい いいえ	－	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
お気に入り設定	保存	お気に入り1	名前：	コピー画質 拡大/縮小 両面コピー トレイ選択 明るさ コントラスト スタック/ソート レイアウト コピー カラー調整	お気に入り設定コピーに関する設定を、組み合わせを変えるなどして3つまで名前をつけて登録しておくことができます。	－
		お気に入り2	名前：			
		お気に入り3	名前：			
	名前の変更	お気に入り1	名前：	－	お気に入りに登録した名前を変更することができます。	－
		お気に入り2	名前：	－		
		お気に入り3	名前：	－		
お気に入り	－	－	お気に入り1	－	お気に入りに登録した設定値を呼び出します。	－
	－	－	お気に入り2	－		
	－	－	お気に入り3	－		

<スキャン>ボタン

操作パネルの<スキャン>を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
スキャン to USB	スキャン画質	–	–	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイルタイプ	–	–	カラー /グレー： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
	両面スキャン	–	–	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイル名	–	–	–	ファイル名を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	原稿台スキャンサイズ	–	–	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイルサイズ	–	–	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	設定を保持する	–	–	スキャン画質 ファイルタイプ 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	設定をリセットする	–	–	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー1	サブ メニュー2	サブ メニュー3	選択項目	内容	参照 ページ
スキャン to ネットワーク ファイル	プロファイル 名	スキャン画質	−	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル タイプ	−	カラー /グレー： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
		両面スキャン	−	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		原稿台スキャン サイズ	−	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル サイズ	−	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル名	−	BRNXXXXXXXXXXX Mitsumori Report Cyumon-syo Keiyaku-syo Denpyo Jucyu-syo <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照 ページ
スキャン to FTP	プロファイル 名	スキャン画質	–	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル タイプ	–	カラー /グレー： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
		両面スキャン	–	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		原稿台スキャン サイズ	–	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル サイズ	–	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル名	–	BRNXXXXXXXXXXX Mitsumori Report Cyumon-syo Keiyaku-syo Denpyo Jucyu-syo <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照 ページ
スキャン to Eメール	直接入力/ 電話帳	スキャン画質	─	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル タイプ	─	カラー /グレー： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
		両面スキャン	─	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		原稿台スキャンサイズ	─	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル サイズ	─	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		送信先件数	─	─	送信先を確認 / 追加します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		設定を 保持する	─	スキャン画質 ファイルタイプ 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		設定を リセットする	─	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照 ページ
スキャン to PC	Eメール： Eメール添付	両面スキャン	―	オフ 両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿	スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	イメージ： PC画像表示	両面スキャン	―	オフ 両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的にコンピューターに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	OCR： テキストデータ	両面スキャン	―	オフ 両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿	スキャンしたデータをテキストに変換してコンピューターに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイル： フォルダー保存	両面スキャン	―	オフ 両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿	スキャンしたデータをコンピューターに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

その他の機能

待ち受け画面から以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容	参照ページ
USBダイレクトプリント	インデックスプリント	–	–	–	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	デフォルト印刷設定	記録紙サイズ	–	<u>A4</u> USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 ハガキ	記録紙サイズを設定します。	⇒55 ページ
		記録紙タイプ	–	<u>普通紙</u> 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 光沢紙	記録紙タイプを設定します。	⇒55 ページ
		レイアウト	–	<u>1in1</u> 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	N in 1を設定します。	⇒55 ページ
		印刷の向き	–	<u>縦長</u> 横長	印刷方向を設定します。	⇒55 ページ
		部単位	–	<u>オン</u> オフ	部単位を設定します。	⇒55 ページ
		プリント画質	–	<u>標準</u> きれい	印刷画質を設定します。	⇒55 ページ
		PDFオプション	–	<u>文書</u> 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒55 ページ
		インデックスプリント	–	<u>簡易</u> 詳細	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
セキュリティ印刷	＊ユーザー選択	＊ジョブ選択	パスワード	印刷 削除	4 桁のパスワードを入力するとセキュリティ印刷ができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照 ページ
セキュリティ 機能ロック※	ロック オン⇒オフ	パスワード	ー	ー	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザごとにロックします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	一般モードへ 切替	ー	ー	ー		
	ユーザー切替	＊ユーザー 選択	パスワード	ー		
セキュリティ 設定ロック	パスワード	ー	ー	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
電話帳	ワンタッチ ダイヤル登録 （最大40件）	ファクス/ 電話	ー	標準 ファイン スーパーファイン 写真	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		インターネット ファクス	ー	標準 ファイン 写真	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロPDF	200 dpi 200 x 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロTIFF		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー JPEG		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー XPS		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

※セキュリティ機能がオンでユーザー設定からメニューに入ったときのみです。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照 ページ
電話帳	短縮ダイヤル 登録 (最大300件)	ファクス/ 電話	−	標準 ファイン スーパーファイン 写真	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		インターネット ファクス	−	標準 ファイン 写真	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロPDF	200 dpi 200 x 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロTIFF		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー PDF	100 dpi/ 200 dpi/ 300 dpi/ 600 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー JPEG		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー XPS		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	グループ登録 短縮ダイヤル 登録 (最大20グループ)	ファクス/ IFAX	−	標準 ファイン スーパーファイン 写真	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロPDF	200 dpi 200 x 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロTIFF		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー JPEG		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー XPS		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照 ページ
電話帳	グループ登録 短縮ダイヤル 登録 (最大20グループ)	Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	グループ登録 ワンタッチ ダイヤル登録 (最大20グループ)	ファクス/ IFAX	−	標準 ファイン スーパーファイン 写真	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロPDF	200 dpi 200 x 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロTIFF		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー JPEG		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー XPS		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		−	−	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

本製品の仕様

ファクシミリ

項目	仕様
互換性	スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度	33600bps（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：215.9mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF（自動原稿送り装置）使用時※1： 最大：356.0mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：297mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	標準記録紙トレイ（トレイ1）：約250枚（80g/m^2）
記録紙サイズ	幅215.9mm×長さ297mm
電送時間	2秒台※2
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	Wide 5 TFTカラー LCD (Wide 12.6cm/126.0mm TFT Color LCD)
読み取り方式	Dual CIS
代行受信枚数	500枚※3
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー
適用回線	一般電話回線

※１：両面読み取りは A4 サイズまでです。

※２：A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

※３：A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.38 本 /mm）で蓄積した場合（JBIG 圧縮時）

プリンター

プリント速度（A4）	最高28枚/分 両面（カラー /モノクロ）：最高14枚/分※
ファーストプリントアウトタイム（レディ時）	16秒以下
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
プリント解像度	600x600dpi、2,400dpi（2400x600）quality
用紙種類	普通紙、再生紙、ラベル紙、封筒、はがき、光沢紙

※ 両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、最高の 7 枚 / 分となります。

コピー

複写速度（A4）	最高28枚/分
ファーストコピーアウトタイム	カラー：21秒以下 モノクロ：19秒以下
コピー解像度	最高1200dpi×600dpi
連続複写枚数	最大99枚
拡大・縮小	あり（50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%・自動、25～400%の1%刻み）

スキャナー

スキャナー解像度（光学解像度）	ADF使用時：1200×600dpi 原稿台ガラス使用時：1200×2400dpi
階調	フルカラー　　入力：48ビット、出力：24ビット グレースケール　256階調
読み取り速度（A4）	カラー：1.79秒/枚 モノクロ：1.79秒/枚

その他

対応コンピューター	IBM PC/AT互換機 Apple社製MacintoshのUSBポート搭載機
対応 OS	Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、 Windows Vista®/Windows® 7 Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008（ネットワークプリントのみ）/2008 R2（ネットワークプリントのみ） Mac OS X 10.4.11/10.5.x/10.6.x
インターフェイス	Hi-Speed USB2.0 有線LAN：10/100BASE-TX（イーサネット） 無線LAN：IEEE802.11 b/g（インフラストラクチャ /アドホックモード）

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	待機時：平均70W ピーク時：1000W コピー時：平均555W※ スリープ時（無線LAN：オン）：10W ディープスリープ時：1.7W
稼働音（音圧レベル）	待機時：33dB（A）以下 動作時：57dB（A）以下
稼働音（音響レベル）	待機時：LWAd=4.8B（A） 動作時：カラー：LWAd=6.94B（A） モノクロ：LWAd=6.88B（A）
メモリ容量	256MB
外形寸法	490 mm 530 mm 526 mm 745mm 565mm
質量（消耗品を含む）	28.5kg

※ 原稿 1 枚に対してコピーを 1 枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。

Wi-Fi認証について

この製品は、Wi-Fi AllianceのWi-Fi製品IEEE802.11b/802.11g認証を受けています。Wi-Fi Alliance認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Allianceと認証製品については、http://www.wi-fi.org/を参照してください。

簡単無線LAN設定

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS※1 (PBC※2)のいずれかに対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※１：Wi-Fi Protected Setup

※２：Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、次のいずれかのマークが表示されています。

索　引

■ 索引の使いかた

- このページでは、本書、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」、「ユーザーズガイド パソコン活用編」で説明されている項目を検索できます。

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

り

れ

わ

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. ９０を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意： 間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリ受信を解除(※1)		951
ファクス転送に設定(※2)		952
電話呼び出しに設定(※2)		953
ファクス転送番号の登録･変更		954+転送番号+##
メモリ受信を設定		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号･転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることができます。

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

0120-143-410

受付時間：月～金　9:00～20:00 /土　9:00～17:00　日曜日･祝日･弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス

SERVICE EXPRESS ブラザーサービスエクスプレス

複合機	1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
- **7日以内に修理品を返送。**
  弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

有償 サービスパック3･4･5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
　引取り修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）0120-143-410（フリーダイヤル）」にご連絡ください。
※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。
　ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
　TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10:00～12:00　13:00～17:00（土日･祝日を除く）
　テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://nj.newsoft.com.tw/

トナーカートリッジ･ドラムユニット･ベルトユニット･廃トナーボックスは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因になる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ･ドラムユニット･ベルトユニット･廃トナーボックスをご使用いただいた場合のみ機能･品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）

ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1